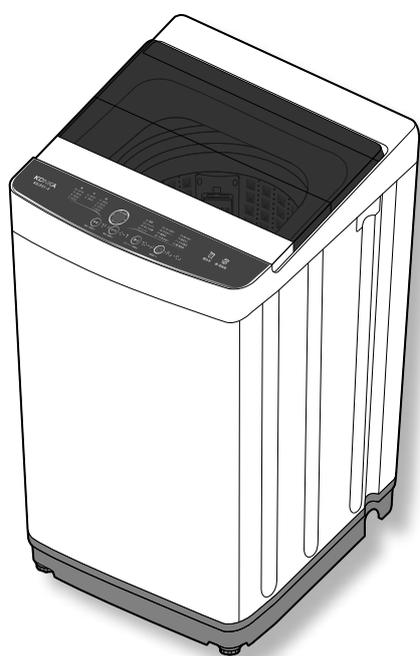


KONKA

取扱説明書

全自動電気洗濯機(家庭用)

品番 KBJP01-8
KBJP01-7



- 本書は、KBJP01-8をもとに説明しています。
- 洗濯・脱水容量は、KBJP01-8は8.0 kg、KBJP01-7は7.0 kgのため、水量・所要時間が異なりますが、使い方は同じです。

施工説明付き

保証書付き

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.2～4)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売元名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 転居や配水管の洗浄などで再据え付けする場合がありますので、取扱説明書(施工説明付き)を大切に保管してください。
- 本書に使用している写真・イラストは説明イメージのため、実際とは多少異なります。

もくじ

ご使用前に	
安全上のご注意	2
各部の名前	5
操作パネルについて	6
洗濯前の準備	7
コースを選ぶ	9
洗剤・柔軟剤の入れ方	11
使い方	
基本のコース	13
衣類/汚れに合わせたコース	15
洗い/すすぎ/脱水 特徴のあるコース	18
少量で軽い汚れの衣類に	23
お手入れ	
洗濯・脱水槽のお手入れ	24
糸くずフィルターなどのお手入れ	26
必要なとき	
施工のしかた	27
故障かな?	32
エラー表示が出たら	35
仕様	36
長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について	36
保証とアフターサービス	37
保証書	裏表紙

安全上のご注意①

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容(禁止事項)です。



実行しなければならない内容(強制事項)です。



警告



禁止

水をかけない・水場や湿気の多い場所に置かない

(漏電による火災・感電の原因)

- お手入れのとき
- ベランダ(風雨にさらされる)
- 浴室(湿気が多い)

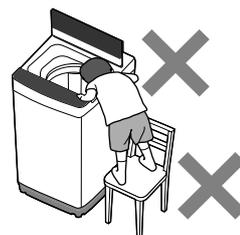


禁止

洗濯・脱水槽をのぞかせない

(洗濯・脱水槽に落ちて感電、けが、おぼれる原因)

- 子供など取り扱いに不慣れな人だけで使わせない
- 近くに台などを置かない
- 子供に遊ばせない



禁止

電源プラグ・コードは

(火災・感電・ショート・発火・けがの原因)

- 傷んだものは使わない
- 束ねない、無理に曲げない
- 傷つけない、加工しない
- 重いものを載せない、挟み込まない
- 引っ張らない、ねじらない
- 電源コードを持って抜かない
- めれた手で抜き差ししない
- コンセントの差し込みが緩いときは使わない
- 延長コードの使用、タコ足配線はしない



必ず守る

電源プラグやコードを正しく使う

(火災・感電の原因)

- 定格 15 A 以上・交流 100 V のコンセントを単独で使う
- 根元まで確実に差し込む
- お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
- ほこりが付いていたら拭く
- 次の場合は使用を中止し、販売元に修理を依頼する
 - ・ 傷んだ電源プラグやコード
 - ・ 差し込みが緩いコンセント



禁止

ガソリン・灯油・ベンジン・シンナー・アルコールなどの引火物や、それらが付着した洗濯物を

洗濯・脱水槽に入れたり近づけたりしない

(爆発・火災の原因)

警告



蚊取り線香、タバコ、ローソク、熱器具などの火気を近づけない
(火災の原因)

禁止



分解・修理・改造しない
(火災・感電・けがの原因)

禁止

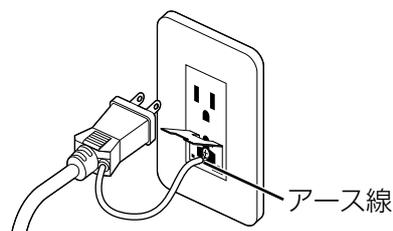
修理は販売元にご相談ください。



アース線を取り付ける
(漏電時に感電のおそれ)

必ず守る

アース工事は、必ず最寄りの電気工事店にご依頼ください。
(工事費は本体価格に含まれません)



異常・故障時は、すぐに使用を中止し、電源プラグを
抜き、水栓を閉じる

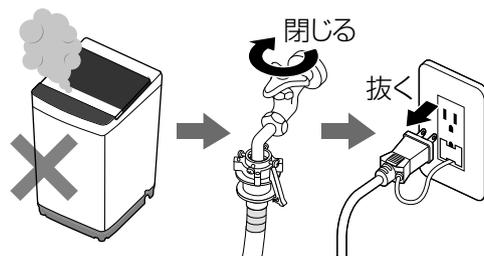
必ず守る

(火災・やけど・感電の原因)

販売元に点検・修理を依頼してください。

■ 異常・故障例

- ・電源プラグ・コードが異常に熱い
- ・電源を入れても運転しないことがある
- ・運転中に異常な音をする 焦げくさい



洗濯・脱水槽が完全に止まるまで、中に手を入れない
(緩い回転でも洗濯物が手に巻き付き、けがの原因)

禁止



本体の下に手や足などを入れない
(回転部などでけがをするおそれ)

禁止



ふたが破損したり、脱水中にふたを開けたときに脱水槽が停止しないときは、直ちに使用を中止
する

必ず守る

事故の原因になります。販売元へ修理をご依頼ください。



確実に排水できる場所に据え付ける
(水漏れにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因)

必ず守る



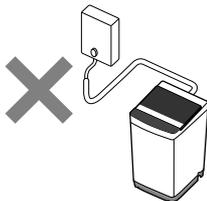
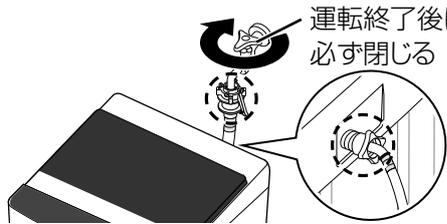
長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因)

必ず守る

安全上のご注意②

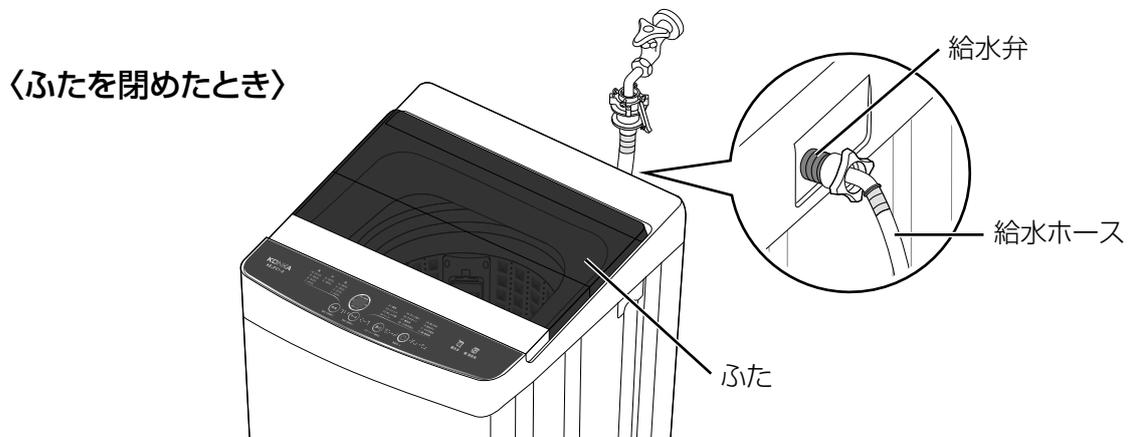
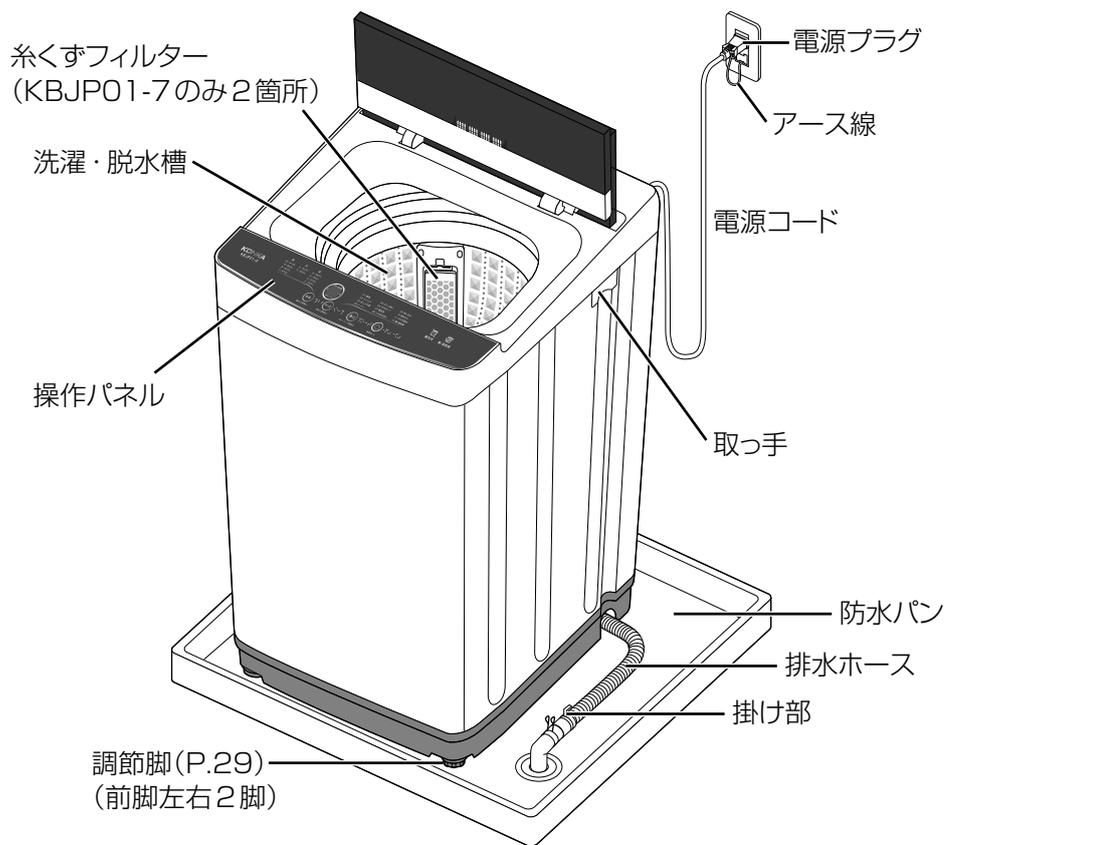
必ずお守りください

⚠ 注意

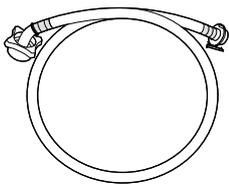
 禁止	高い場所や不安定な場所には設置しない (脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損、水漏れの原因)	
 必ず守る	本体の底に付属の保護カバーを取り付ける (回転部などで手足を切るおそれ) ● 取り付けは販売元にご相談ください。	
 禁止	50℃以上のお湯を入れない、温水の給水源に接続しない (変形による水漏れのおそれ)	
 必ず守る	洗濯前に水栓を開け、給水ホースの接続部が緩みや水漏れがないことを確認する (水漏れ・故障の原因) ● 運転終了後は、水栓を閉じてください。	 運転終了後は必ず閉じる
 禁止	本体に乗らない、寄りかかったり、物を載せたりしない (変形・振動による落下の原因)	
 禁止	ふたは ● 閉めるときに、洗濯物を挟まない(故障や、破損によるけが・洗濯物の損傷のおそれ) ● 取り付け部周辺を触った状態で、開け閉めしない(指を挟み、けがをするおそれ)	
 禁止	防水性のシートや衣類、裏がウレタンやゴム製のマット類は、「洗い」「すすぎ」「脱水」をしない (激しい振動や転倒によるけが、本体や周囲の破損、衣類の損傷、水漏れなどのおそれ) ・レインコート ・おむつカバー ・ウエットスーツ ・防水シート ・スキーウェア ・サウナスーツ ・寝袋 ・自動車のカバー など	
 禁止	ダウンやアクリル素材のものは、「脱水」をしない (衣類の損傷のおそれ)	

- 本体(特にふたや操作パネル)に洗剤や柔軟剤が付着したら、絞ったタオルですぐに拭き取ってください。
- 本製品は、衣類などの洗濯・乾燥を目的としています。取扱説明書に記載した用途以外には使用しないでください。
- 本製品は、海外で使用するようには設計されていません。日本国内の家庭用としてご使用ください。
- 本製品は家庭での使用および以下の場所での使用を基準としています。
 - ・洗濯機を設置可能な店舗、オフィス、その他の作業環境のキッチンエリア
 - ・宿泊施設(ホテル、モーテルなど)、その他タイプの住宅環境における顧客の使用
- 水漏れや排水異常などの問題があるときは、販売元または施工業者にお問い合わせください。

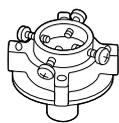
各部の名前



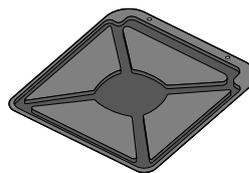
付属品



給水ホース(1本: 1.0 m)



水栓継手(1個)



保護カバー(1個)



保護カバー取り付けネジ
(2本)

- 付属の給水ホース以外は使わないでください。水漏れや故障の原因になります。
- 保護カバーは本体底部に取り付けます。(P.28)
- 排水ホースは本体備え付けです。

操作パネルについて

表示部



コース
(例) 01 標準



水位レベル
(例) 7 : 47.0 L



残り時間
(例) 52分



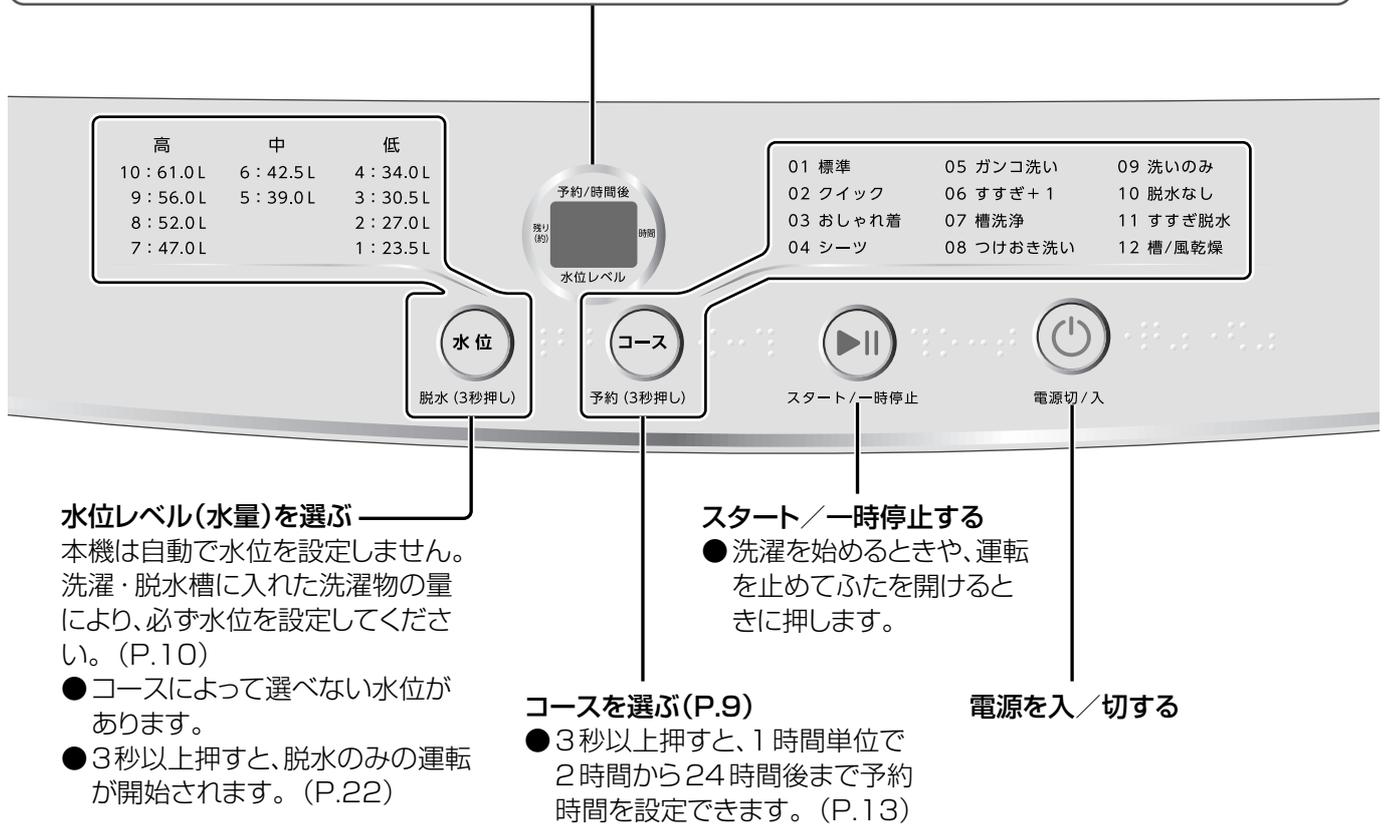
予約残り時間
(例) 5時間



エラー
(P.35)



安全機能
(P.14)



基本的な洗濯の流れ

1 準備する

- ①洗濯前の準備 (P.7)
- ②水栓を開け、衣類を入れる

2 電源を入れる



3 コースを選ぶ (P.9)



4 水位を選ぶ



5 スタートする



6 洗剤を入れる (P.11)



7 ふたを閉める

8 運転中

洗い → すすぎ → 脱水



9 終了のブザーが鳴ったら取り出す



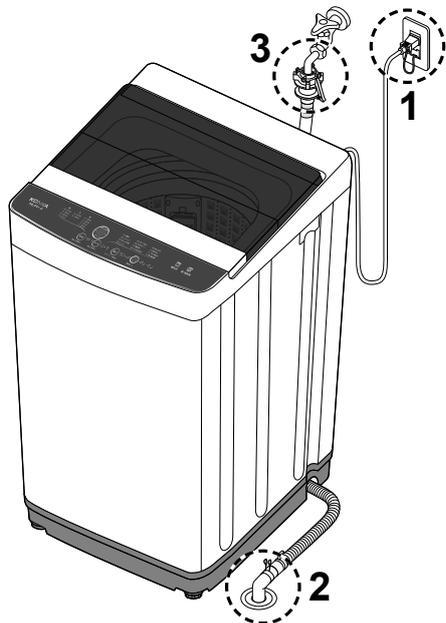
10 お手入れする (P.26)

- 最後の「すすぎ」の注水を知らせるブザーが鳴ったら、ふたを開けて柔軟剤を入れる (P.11)



洗濯前の準備①

据え付け状態の確認をしてください。



1 電源コード

- ・奥までしっかり差し込まれているか
- ・アースは接続されているか

2 排水ホース

- ・排水口に正しく取り付けられているか(P.28～29)
- ・排水ホースが脚などに挟まっていないか

3 給水ホース

- ・水栓に正しく取り付けられているか(P.30)
- ・接続部分に緩みやガタつきがないか
- ・水栓は開いているか

お願い

- 糸くずフィルターは必ず取り付けてください。
- 据え付け状態について、詳しくは「施工のしかた」をご覧ください。(P.27)

以下のものを洗ったり、風乾燥したりすると、洗濯物の傷み、縮み、形くずれ、色落ち、水シミ、風合いの低下などの原因になります。

✕ 洗濯・風乾燥できないもの

- 防水性のもの
- 洗濯表示や組成表示のないもの
- 以下の洗濯表示があるもの
(新記号) 
- 芯地が多く、形くずれしやすいもの
ネクタイ・ブレザー・ジャケット・コート・スーツ・ツバのある帽子など
- 著しい収縮や変色、表面変化を起こすおそれのある素材
レーヨン・キュプラ・絹および混紡品など
- 形くずれや表面変化を起こすおそれのある生地
- 和服・和装小物など
- 毛倒れを起こす起毛製品
ベルベット・ペロアなど
- ウレタン(スポンジ類)の入ったもの
- 座ぶとん・クッション・枕など
- 皮革製品・皮革装飾をほどこしたものの
- 表面の凹凸などが消えやすいもの
防シワ加工品・エンボス加工品など
- カーペット・水を通さないカーペットカバーやマット類
裏にゴムなどが付いているもの

✕ 風乾燥できないもの

- ウール製品
- のりづけした衣類
- 以下の洗濯表示があるもの
(旧記号) 
- 色落ちしやすいもの
- シワが気になる衣類
ブラウス、シャツや綿100%のものなど
- 装飾品を使用したもの
- タイツ・レース・装飾の多いもの
- 「03 おしゃれ着」コースで洗う衣類
- ペットなど動物の毛が付いたもの
(排水口が詰まる原因)

洗濯前の準備②

洗濯物を確認する

- 金属片、硬貨などポケットの中のものを取り出す
- フリース素材は、一度に2～3枚程度にする。
- ボタンは留め、ファスナーは閉め、ひもは結ぶ
- ペットの毛や髪の毛、砂などはブラシで取る
- 飾り・付属品付き衣類、コーデュロイなどの起毛素材は裏返す
- 洗濯表示をチェックする

洗濯物を分ける

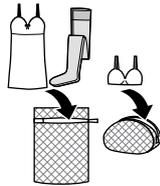
- 色落ちしやすいものや濃い色のものと、白いもの・色の薄いものは分ける

使用する液体洗剤の原液を浸した白い布で、目立たない所をこする。
→色が付いたら分け洗いをしてください。



- デリケートな洗濯物は、市販の洗濯ネットに入れる

- ・ストッキングやブラジャー
- ・レース付きの衣類やランジェリー
- ・小物類（靴下やハンカチなど）



- 糸くずの出やすいタオルなどは分ける。糸くずが気になる洗濯物は、市販の糸くず防止ネットに入れる
- 糸くずフィルターに糸くずがたまりにくい場合は、水位を高めにして使用する

汚れた部分の前洗いをする



えり、そで汚れ
→部分洗い洗剤を付ける



泥汚れ
→部分汚れ用洗剤か浴用石けんを塗り、もみ洗する。



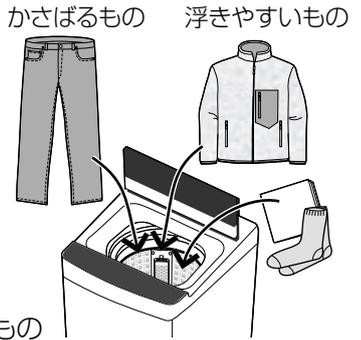
シミ汚れ
→シミ汚れ用洗剤か酸素系液体漂白剤を塗る。（血液、紅茶、ジュースなどのシミは、水で前洗する）

かさばるものや水に浮きやすいものは、最初に入れて上から押さえる

衣類の飛び出しを防止します。

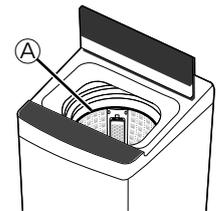
水に浮きやすい衣類の例

- 靴下やハンカチなどの小物類
- はっ水加工品
- 細かい目のネットに入れたもの
- フリースなど化繊100%あるいは混紡のもの
- ジャンパーなど表地や裏地が化繊100%のもの



洗濯物は入れ過ぎない

衣類は均一に入れ、Aより上に出ないように押し込む(水を十分に含ませる)



お願い

- 洗濯機で洗える洗濯表示があっても、枕・座布団・クッションなど給水後に上から押さえても洗剤液がしみ込まないものは洗濯しないでください。脱水時に洗濯物が飛び出すことがあり、故障の原因となります。

コースを選ぶ①

コースによって、洗濯できる量が決まっています。

- 以下の「洗濯できる量」を目安に、最大量を超えないように入れてください。
- 水位は自動で設定されません。洗濯・脱水槽に入れた洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

	コース	洗濯できる量		設定	
		KBJP01-8	KBJP01-7	水位 選択	予約
基本のコース	▶ 01 標準 (P.13)	8.0 kgまで	7.0 kgまで	○	○
少量で軽い汚れの衣類	▶ 02 クイック (P.23)	2.0 kgまで	2.0 kgまで	○	○
汚れや衣類に合わせた コース	▶ 03 おしゃれ着 (P.15)	3.0 kgまで	3.0 kgまで	○	—
	▶ 04 シーツ (P.16)	3.0 kgまで	3.0 kgまで	○	○
	▶ 05 ガンコ洗い (P.17)	3.0 kgまで	3.0 kgまで	○	○
	▶ 08 つけおき洗い (P.17)	8.0 kgまで	7.0 kgまで	○	○
洗い/すすぎ/脱水特徴の あるコース	▶ 06 すすぎ+1 (P.19)	3.0 kgまで	3.0 kgまで	○	○
	▶ 09 洗いのみ (P.18)	8.0 kgまで	7.0 kgまで	○	○
	▶ 10 脱水なし (P.21)	8.0 kgまで	7.0 kgまで	○	○
	▶ 11 すすぎ脱水 (P.20)	8.0 kgまで	7.0 kgまで	○	○
	▶ 脱水 (P.22)	—	—	—	—
槽/風乾燥・お手入れ	▶ 12 槽/風乾燥 (P.24)	—	—	—	—
	▶ 07 槽洗浄 (P.25)	—	—	—	—

お願い

- 傷み・穴あき、故障を防ぐために、衣類や汚れに合わせて正しいコースを選んでください。
- 洗濯表示を確認してください。
- 素材によって重さは異なるので、慣れないうちは少なめに入れてください。
- 汚れ落ちや脱水の絞り具合をよくするために、少なめの量での洗濯をおすすめします。

■衣類1枚当たりの重さの目安

500 g	・シーツ(綿100%) ・パジャマ上下(綿100%)	200 g	・ワイシャツ(混紡) ・ブラウス(混紡)
400 g	・スカート(化繊)	130 g	・長袖肌着(綿100%)
300 g	・バスタオル(綿100%) ・セーター(混紡)	50 g	・靴下(混紡) ・ブリーフ(綿100%)

- 素材などによって重さは異なります。

コースを選ぶ②

コース運転内容

コース	水位レベル調整範囲 (デフォルト水位 ^{※1})	所要時間 ^{※3} (約)	洗い時間 ^{※3} (約)	すすぎ回数 ^{※4}	脱水時間(約)
01 標準	1~10 (7)	51分	11~19分	2回	8分
02 クイック	1~6 (3)	19分	4分	1回	7分
03 おしゃれ着	5~10 (5)	40分	8~10分	2回	7分
04 シーツ	7~10 (10)	53分	17~19分	2回	9分
05 ガンコ洗い	7~10 (10)	51分	17~19分	2回	9分
06 すすぎ+1	5~10 (5)	52分	8~10分	3回	7分
07 槽洗浄	10 ^{※2}	43分	23分	1回	5分
08 つけおき洗い	1~10 (7)	51分	11~19分	2回	8~9分
09 洗いのみ	1~10 (7)	17分	11~19分	—	—
10 脱水なし	1~10 (7)	41分	11~19分	2回	—
11 すすぎ脱水	1~10 (7)	34分	—	2回	9分
12 槽/風乾燥	—	30分	—	—	30分
脱水	—	9分	—	—	9分

※1 コース洗濯後に^{水位}を押したとき、最初に表示される水位レベル。

水位は自動で設定されません。コースごとに選択できる量(P.9)の範囲内で、洗濯・脱水槽に入れた洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

※2 水位レベルは固定(10)のため、変更できません。

※3 各コース、デフォルト水位で洗濯した場合の時間です。

※4 最後のすすぎ時にブザーが鳴り、柔軟剤を投入するタイミングをお知らせします。

洗剤・柔軟剤の入れ方①

合成洗剤・漂白剤

洗濯・脱水槽に直接入れる。

粉末

- 水に溶けやすいものを使用し、すすぎは十分に行う。

液体

- 漂白剤は、記載の使用方法和注意事項をよく読み、正しく利用する。
- 塩素系漂白剤は
 - ・ 50倍の水で薄め、洗濯・脱水槽に直接入れる。(衣類をよけて入れる)
 - ・ 予約時は使用しない。(金属の腐食・故障の原因)
 - ・ 色柄物には使用しない。(色落ちの原因)

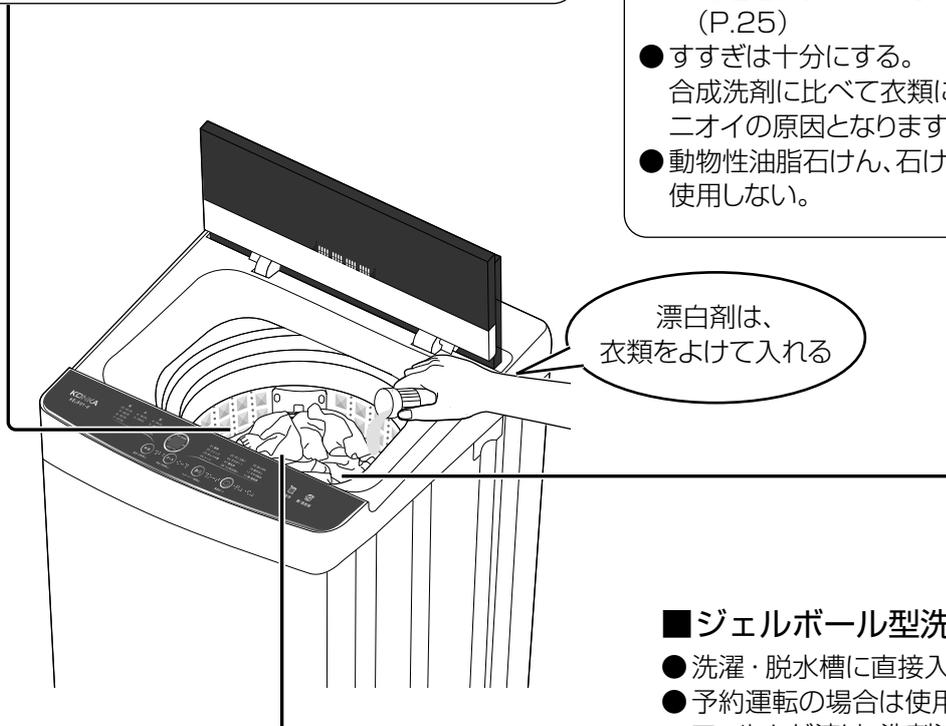
粉石けん

よく溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れる。

ぬるま湯(約30℃)に、かき回しながら少しずつ入れて溶かす。(固まったり、粉が残らないように)



- 予約時は使用しない。(固まる原因)
- 入れ過ぎたり、低温の水に直接入れない。完全に溶けなかった石けんカスがホースや洗濯・脱水槽に付着し、浮き上がって衣類を汚す原因となります。→洗濯槽クリーナーで、洗濯・脱水槽を洗う。(P.25)
- すすぎは十分にする。合成洗剤に比べて衣類に残りやすいため、黄ばみやニオイの原因となります。
- 動物性油脂石けん、石けんフレーク、液体石けんは使用しない。



柔軟剤

最後の「すすぎ」の注水を知らせるブザー(柔軟剤投入ブザー)が鳴ったらふたを開け、洗濯・脱水槽に直接入れる

- 分離・固化したものは使用しない。
- 柔軟剤の種類によっては、少量の水と混ざると固まるものがあるため、柔軟剤の説明書に従う。
- 濃縮タイプの場合は、同量の水でよく溶かしてから入れる。



■ジェルボール型洗剤について

- 洗濯・脱水槽に直接入れてください。
- 予約運転の場合は使用しないでください。フィルムが溶け、洗剤液が直接洗濯物に触れる状態が長時間続くと、シミの原因となります。

■柔軟剤投入時

- 柔軟剤投入ブザーは約5秒間鳴ります。
- ふたを開けると表示部に「E2」と表示され、運転が停止します。
- 柔軟剤投入後ふたを閉めると、運転は再開します。

お願い

- 重曹は使用しないでください。(故障の原因)
- 使用方法や容量については洗濯用剤の容器に記載されている説明に従ってください。

洗剤・柔軟剤の入れ方②

使用量の目安

石けん、漂白剤の使用量は、容器の記載に従ってください。

水位レベル	水量 (L)		合成洗剤		柔軟剤 (ml)
	KBJP01-8	KBJP01-7	粉末 (g)	液体 (ml)	
10	61.0	51.0	100	100	35
9	56.0	48.0	80	80	30
8	52.0	44.5	70	70	25
7	47.0	41.5	50	50	20
6	42.5	37.0	40	40	18
5	39.0	33.5			
4	34.0	29.5			
3	30.5	25.5			
2	27.0	23.5			
1	23.5	19.5			

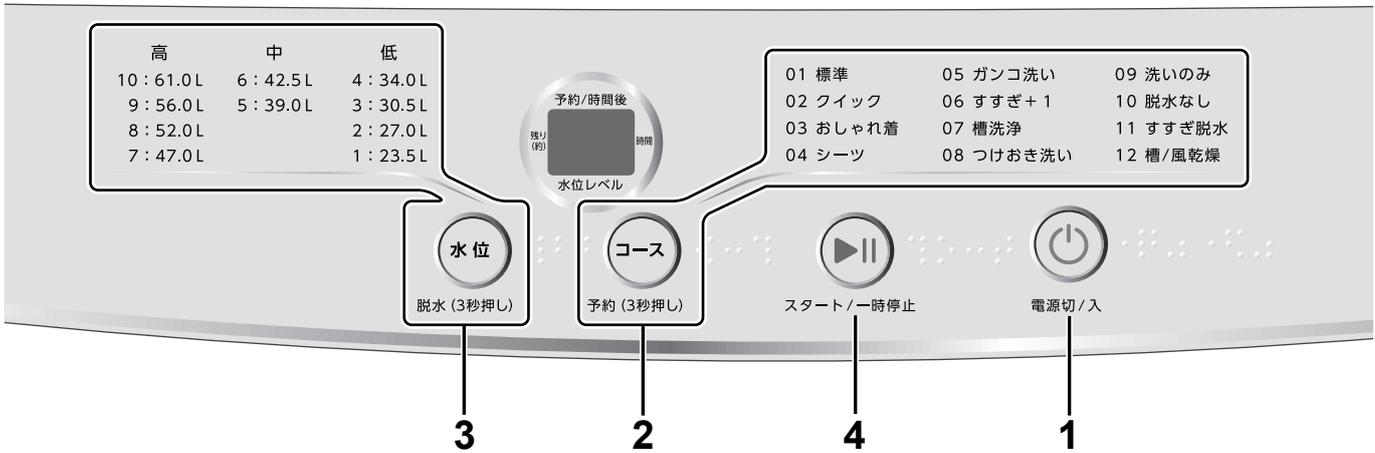
お願い

- 洗剤を入れ過ぎないでください。泡があふれて、床などがぬれることがあります。また、洗濯物に洗剤が残ったり、洗濯・脱水槽に洗剤が残って、カビが生えたりすることがあります。
- ふたや操作パネルなどプラスチック部に洗剤が付いた場合は、乾いたタオルで拭き取ったあと、ぬれたタオルで拭いてください。洗剤が付いたまま放置しておくとうプラスチック部が割れることがあります。
- 洗剤類は周囲の温度や湿度など保管条件の変化にご注意のうえ、早めにご使用ください。保管条件により、洗剤が固まる・柔軟剤がどろどろになったり粒ができるなど、状態が変化することがあります。このような洗剤類は溶けにくいので、効果が十分に発揮できなくなったり、シミの原因になることがあります。

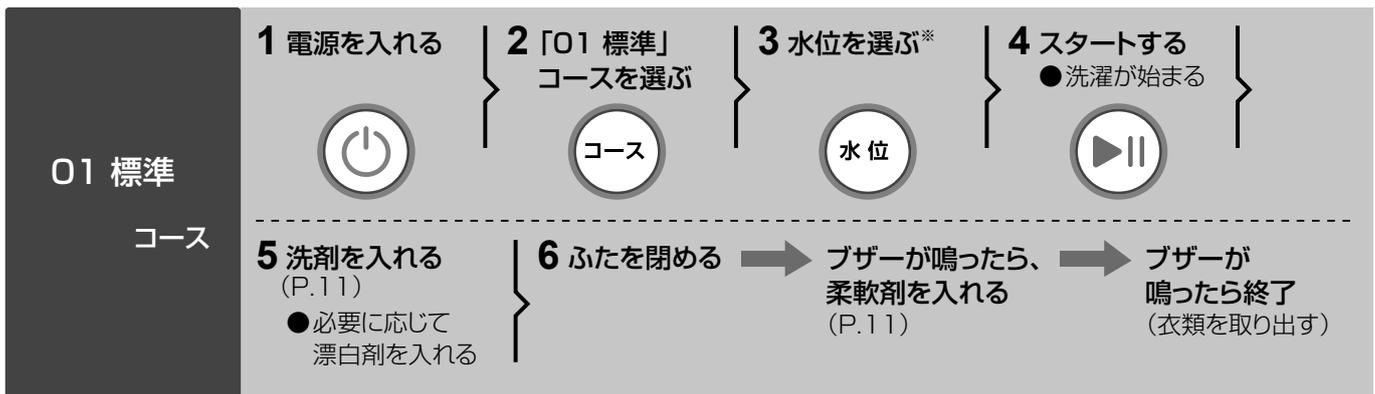
基本のコース①

ふだんの洗濯物を洗濯するコースです。

少量で軽い汚れの衣類を短時間で洗濯したいときは、「02 クイック」コース(P.23)がおすすめです。



- 準備: ① 水栓を開ける。
② 衣類を入れる。



* 洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

■洗濯できる量 ()内: KBJP01-7の場合

01 標準	8.0 kg (7.0 kg)まで
-------	-------------------

- 洗濯終了後に続けて、風乾燥を行う(P.24)

■途中で水位を変える

- ① [一時停止] を押し、一時停止する
- ② [水位] を押し、水位を変更する
- ③ [スタート] を押し、洗濯を再開する

- 運転途中に水位を変更できるのは、洗いの間のみです。
- 洗濯開始後にコースを変更することはできません。
- 運転中に [水位] や [コース] を押し、選択した水位やコースを確認することができます。

■運転終了時間を予約するには

手順3のあとに、以下の操作を行ってください。

- ① [コース] を3秒長押しする
表示部が「2.」に変わります。(予約時間を設定中は、表示部の末尾に「.」(ピリオド)が表示されます)
 - ② [コース] を押し、何時間後に終了させるかを選ぶ
・1時間単位で2時間から24時間後まで予約時間を設定できます。
・「24.」の表示後は、「2.」に戻らず、水位レベル表示になります。予約を設定しないおす場合は、もう一度手順①②を操作ください。
 - ③ 上の手順4の操作に戻る
- 予約時は、塩素系漂白剤を使用しない。(金属の腐食・故障の原因)
 - 予約を取り消すには電源「切」にしてください。

基本のコース②

■柔軟剤投入ブザーをオフにするには

初期設定はオンに設定されています。

オフにするには、運転中に以下の操作を行ってください。

① ブザーが鳴るまで、**コース**を長押しする

ブザーが8回鳴ると、柔軟剤投入ブザーがオフになります。

再びオンにするには、運転中に以下の操作を行ってください。

① ブザーが鳴るまで、**コース**を長押しする

ブザーが1回鳴ると、柔軟剤投入ブザーがオンになります。

お願い

- 安全装置機能との併用はできません。

■安全機能について

運転中にけがをしたり子供が転落して溺れたりするのを防ぐための機能です。

運転中にふたを開けると

- ブザーが鳴り運転を停止します。ふたの開閉に関わらず、ボタン操作ができなくなります。ふたを開けた状態では、表示部には「E5」と表示されます。
- 5秒後に排水が始まります。5秒以内にふたを閉めると、運転が再開されます。

初期設定はオフに設定されています。

オンにするには、以下の操作を行ってください。

① **水位**と**コース**を3秒長押しする

表示部に「CL」と表示されると設定完了です。

再びオフにするには、以下の操作を行ってください。

① **水位**と**コース**を3秒長押しする

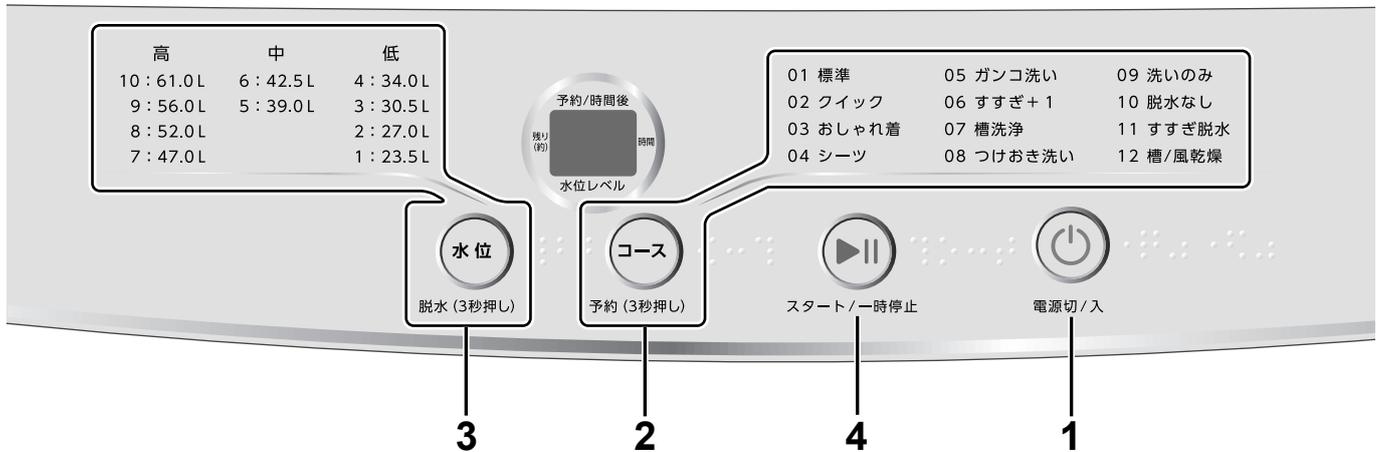
「ピッ」音がすれば設定完了です。ふたを開け、表示部に「E2」と表示されると解除されています。

お願い

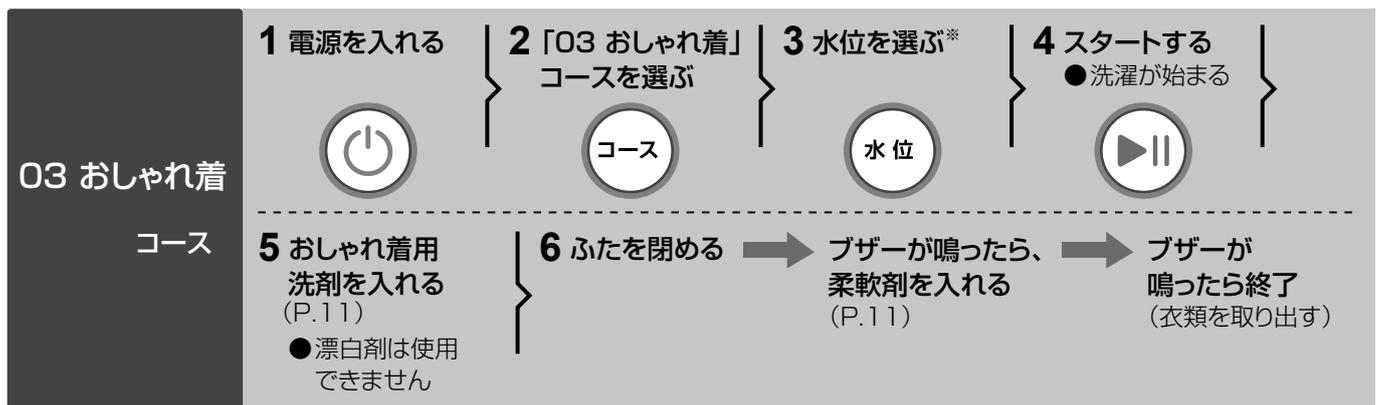
- 柔軟剤投入ブザーとの併用はできません。

衣類 / 汚れに合わせたコース①

デリケートな衣類を洗う



- 準備: ① 水栓を開ける。
② 衣類を平らになるように、重ねて入れる。



* 洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

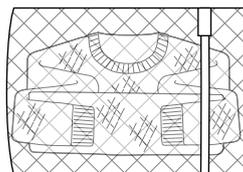
洗濯できる量

03 おしゃれ着	3.0 kgまで
----------	----------

洗濯ネットへの入れかた

セーターなど布傷みが気になるときは、市販の洗濯ネットに入れてください。

- 洗濯ネットには、えり・そでなど、汚れた所が表に出るようにたたんで入れてください。
- 洗濯・脱水槽には、汚れている方を下向きにして入れてください。



次のいずれかの洗濯表示があるデリケートな衣類などの洗濯におすすめです。

(新記号)



(旧記号)



- 上記の表示があっても洗えないもの(P.7~8)
- 洗濯表示のないものや素材が不明のもの、色落ちするものは洗わないでください。

洗濯物が浮いているとき

セーターなどが浮き上がるときは、給水後に一時停止し、上から軽く押さえてください。

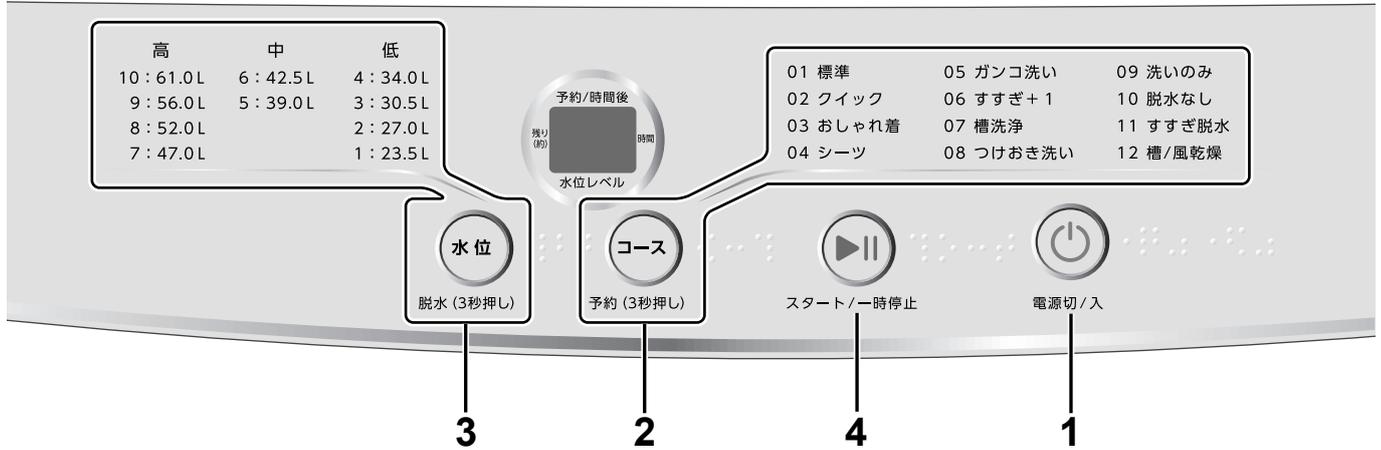
お願い

- 運転終了後は、すぐに衣類を取り出してください。(シワや色移りを防ぐため)
- 洗剤は、おしゃれ着用洗剤以外使用しないでください。(洗剤の溶け残りや衣類が傷む原因)
- 洗濯容量の上限(3 kg)を超えて洗濯物を入れないでください。

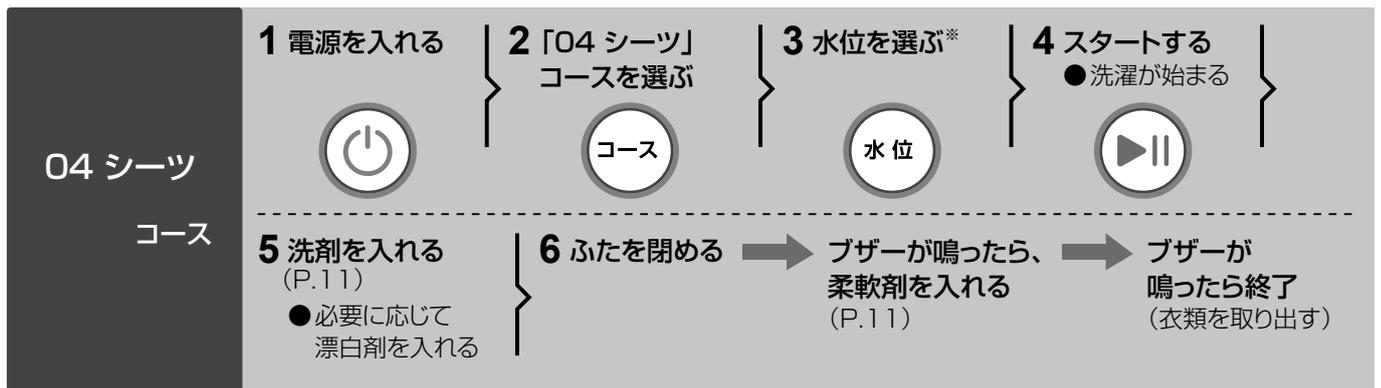
衣類 / 汚れに合わせたコース②

シーツなど大物を洗う

シーツ、軽めの毛布(マイヤーや織)、カーペットカバーなどの洗濯におすすめです。



- 準備: ① 水栓を開ける。
② 衣類を入れる。



※ 洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

洗濯できる量

04 シーツ	3.0 kgまで
--------	----------

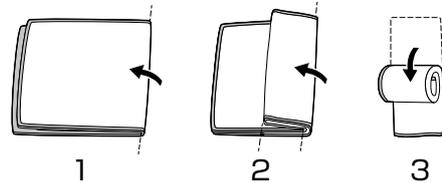
- 運転終了時間を予約する(P.13)

洗濯物が浮いているとき

セーターなどが浮き上がるときは、給水後に一時停止し、上から軽く押さえてください。

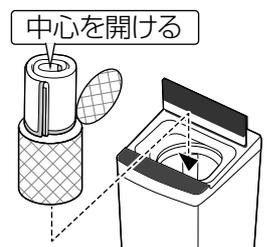
毛布の折りかた

ゴミや糸くずを取り除き、縦長に6つに折り、巻いてください。



毛布洗いネットへの入れかた

- ・ヘリのあるほうを下
- ・中心部はできるだけ開ける
- ・ファスナーは閉める
- ・洗濯・脱水槽には縦で

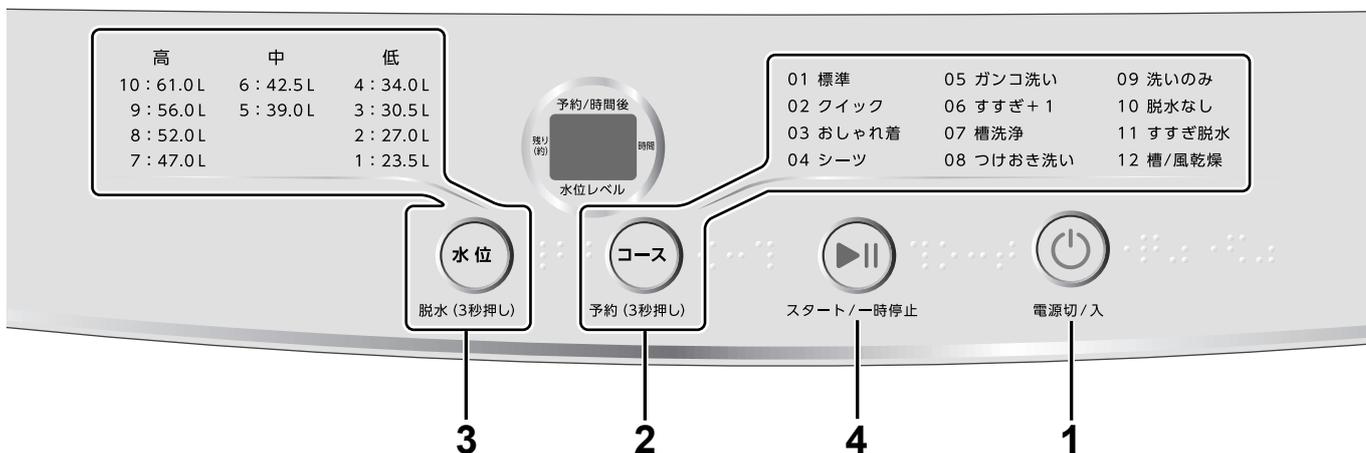


お願い

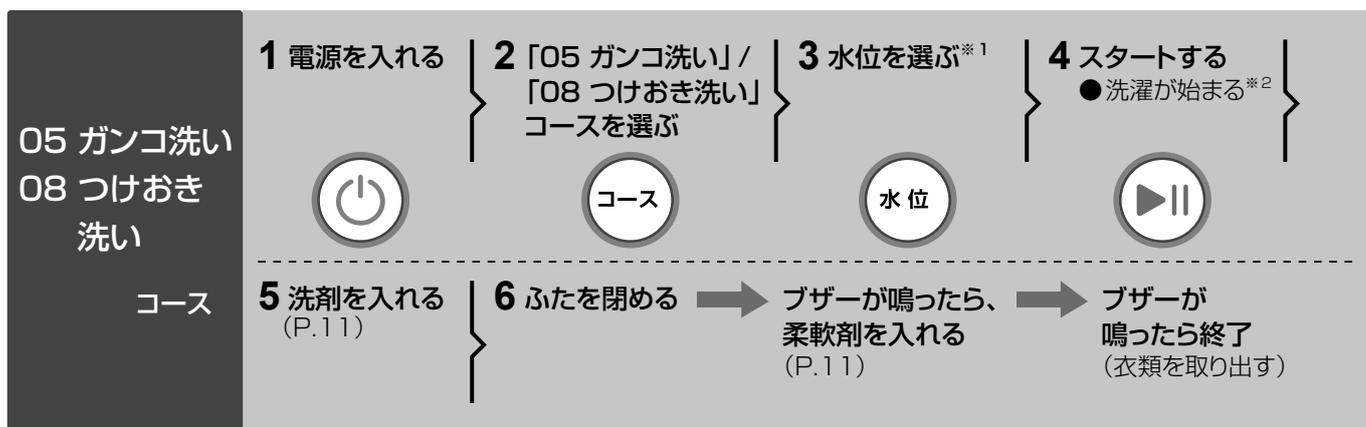
- 洗濯容量の上限(3 kg)を超えて洗濯物を入れしないでください。

汚れが強いものを洗う

デニムや作業着、ユニホームなど汚れが強いものを洗濯するコースです。
泥汚れなど、さらにしっかり洗いたいときは、「08 つけおき洗い」コースがおすすめです。



- 準備： ① 水栓を開ける。
② 衣類を入れる。



※ 1 洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

※ 2 「08 つけおき洗い」コースを選択した場合は、30分間のつけおきを行ったあと、洗濯が始まります。

洗濯できる量 () 内: KBJP01-7の場合

05 ガンコ洗い	3.0 kgまで
08 つけおき洗い	8.0 kg (7.0 kg)まで

● 洗濯終了後に続けて、風乾燥を行う(P.24)

洗えないもの

次のいずれかの洗濯表示があるものは、衣類が傷む原因となります。

(新記号)



(旧記号)



● 色落ちするものは洗わないでください。

お願い

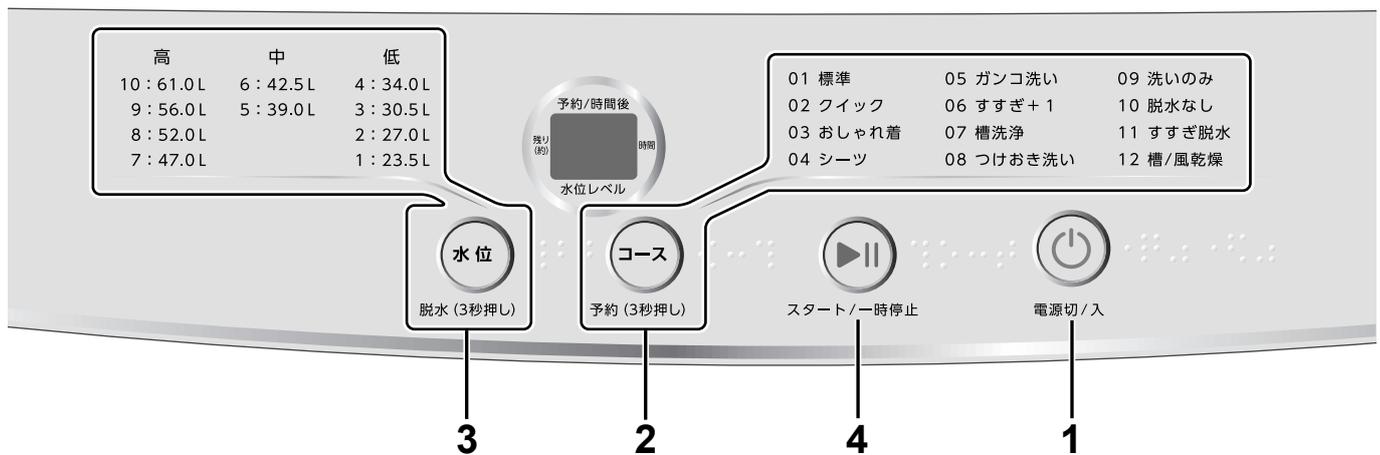
● 大物衣類は水が飛び散ることがあるので入れないでください。

特徴のあるコース①

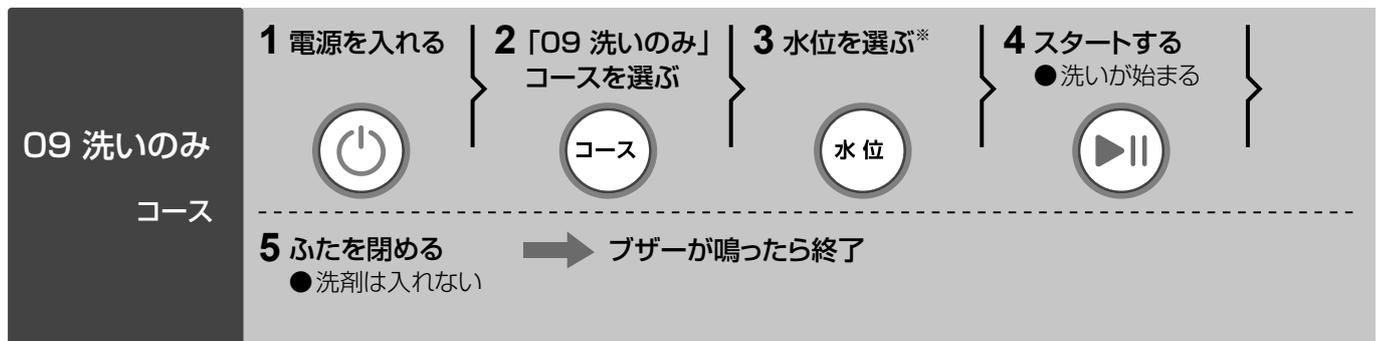
■コース内容

09 洗いのみ (P.18)	洗いのみ	10 脱水なし (P.21)	脱水なしで、すすぎで終わる
06 すすぎ+1 (P.19)	すすぎが1回多い	脱水 (P.22)	脱水のみを行う
11 すすぎ脱水 (P.20)	すすぎと脱水のみ		

「洗い」のみのコース



- 準備： ① 水栓を開ける。
② 衣類を入れる。



※ 洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

■洗濯できる量 ()内：KBJP01-7の場合

09 洗いのみ	8.0 kg (7.0 kg)まで
---------	-------------------

- 運転終了時間を予約する(P.13)
- 洗濯終了後に続けて、風乾燥を行う(P.24)

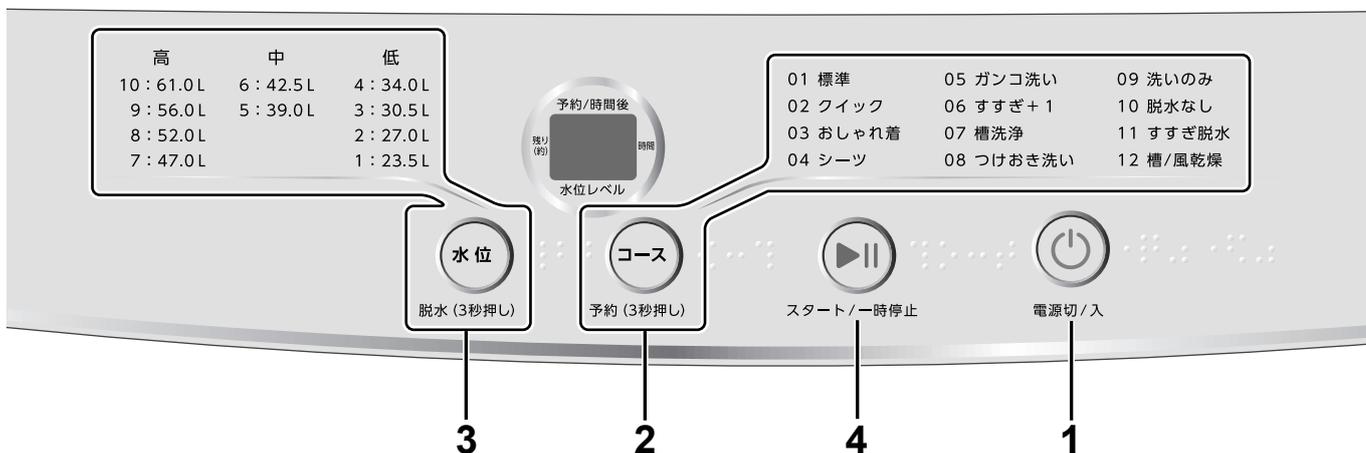
お願い

- 洗剤や柔軟剤は入れないでください。
- 衣類を取り出したあと、洗濯・脱水層を乾燥させるため、「脱水」を行ってください。(P.22)

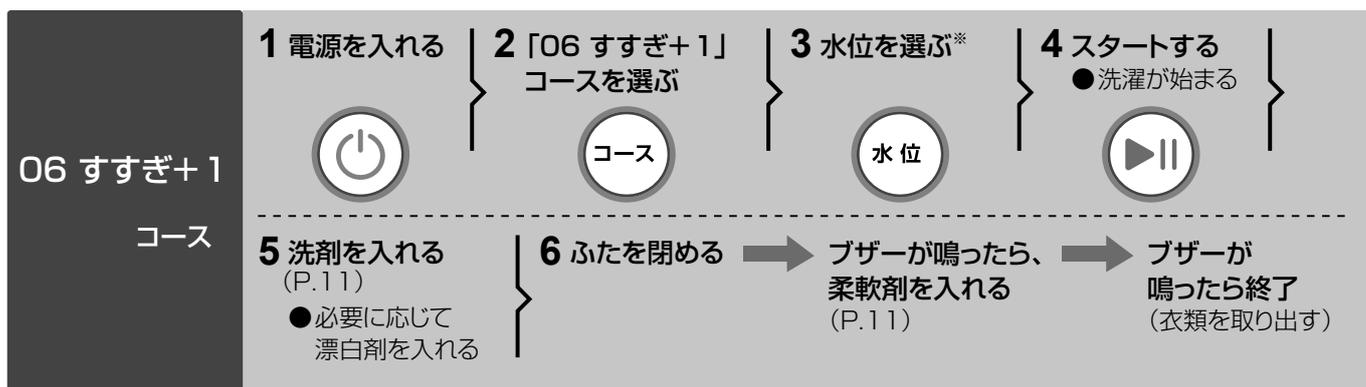
「すすぎ」が多いコース

「01 標準」コースよりも、すすぎが1回多いコースです。

赤ちゃんやアレルギーのある方など、洗剤や汚れ残りが気になる場合におすすめです。



- 準備： ① 水栓を開ける。
② 衣類を入れる。



※ 洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

洗濯できる量

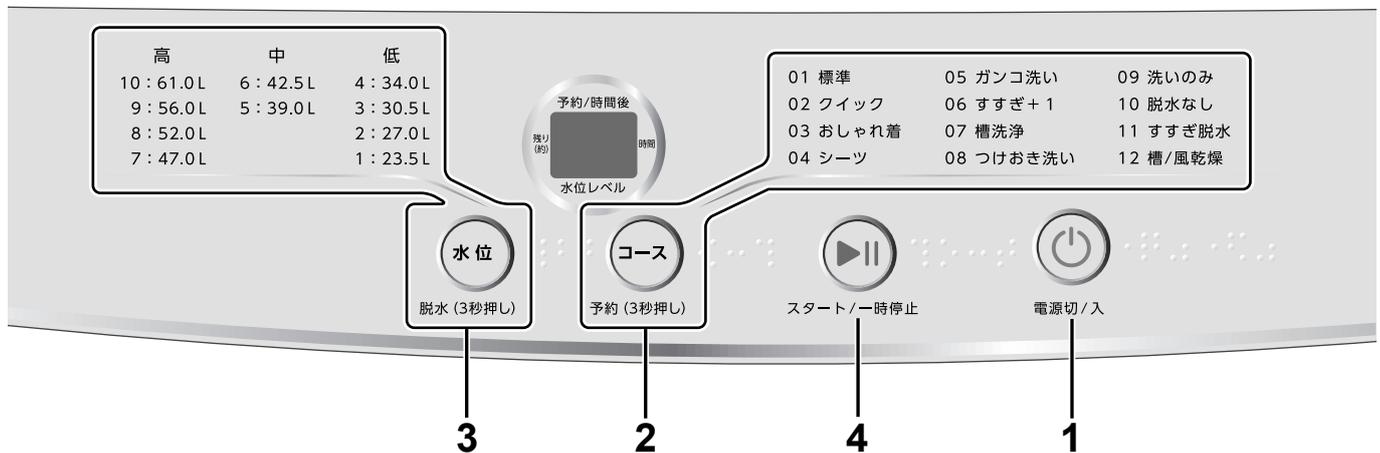
06 すすぎ+1	3.0 kgまで
----------	----------

- 運転終了時間を予約する (P.13)
- 洗濯終了後に続けて、風乾燥を行う (P.24)

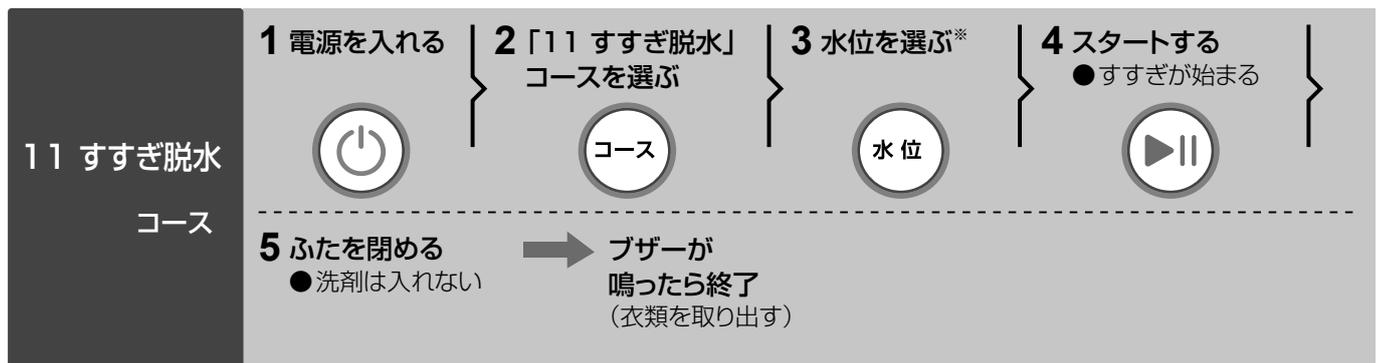
特徴のあるコース②

「すすぎ」と「脱水」のみのコース

洗いが無い、すすぎと脱水のみを行うコースです。
手洗いや、つけおきした衣類をすすいで脱水する場合におすすめです。



- 準備: ① 水栓を開ける。
② 衣類を入れる。



* 洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

■洗濯できる量 ()内: KBJP01-7の場合

11 すすぎ脱水	8.0 kg (7.0 kg)まで
----------	-------------------

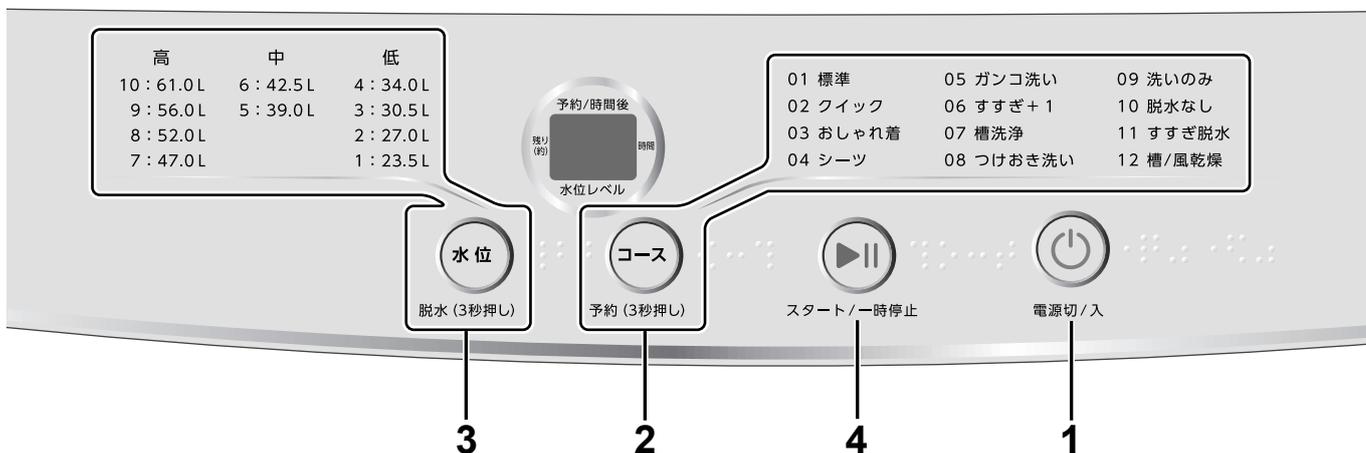
- 運転終了時間を予約する(P.13)
- 洗濯終了後に続けて、風乾燥を行う(P.24)

お願い

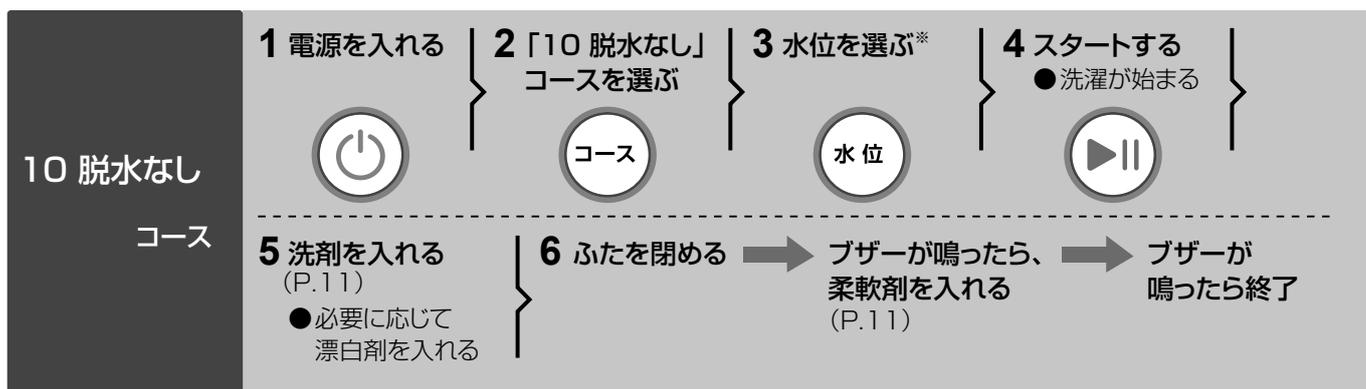
- 洗剤や柔軟剤は入れないでください。

「すすぎ」で終わるコース

脱水せずに、洗濯物が絞られていない状態で終了するコースです。
ぬれ干しの洗濯表示がある衣類やシワになりやすい素材の場合におすすめです。



- 準備： ① 水栓を開ける。
② 衣類を入れる。



* 洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

洗濯できる量 ()内: KBJP01-7の場合

10 脱水なし 8.0 kg (7.0 kg)まで

次のぬれ干しの洗濯表示があるものや、シワになりやすい衣類の洗濯におすすめです。

(新記号)



- 色落ちするものは洗わないでください。

ぬれ干しの干しかた

- ぬれたままの状態洗濯表示に従い吊り干し、または平干しする
 - 水の滴りが気になる場合は、手で絞るなどせず、タオルなどで軽く水分を吸い取ってください。
 - 室内干しの場合は、床に厚手のタオルなどを敷いてください。
- 完全に乾いたら洗濯物を取り込む
 - 壁やカーテンから離して干してください。(湿気が移る原因)
 - 吊り干しの場合は必ずサイズの合ったハンガーを使用し、平干しの場合は市販の専用のネットなどを利用してください。

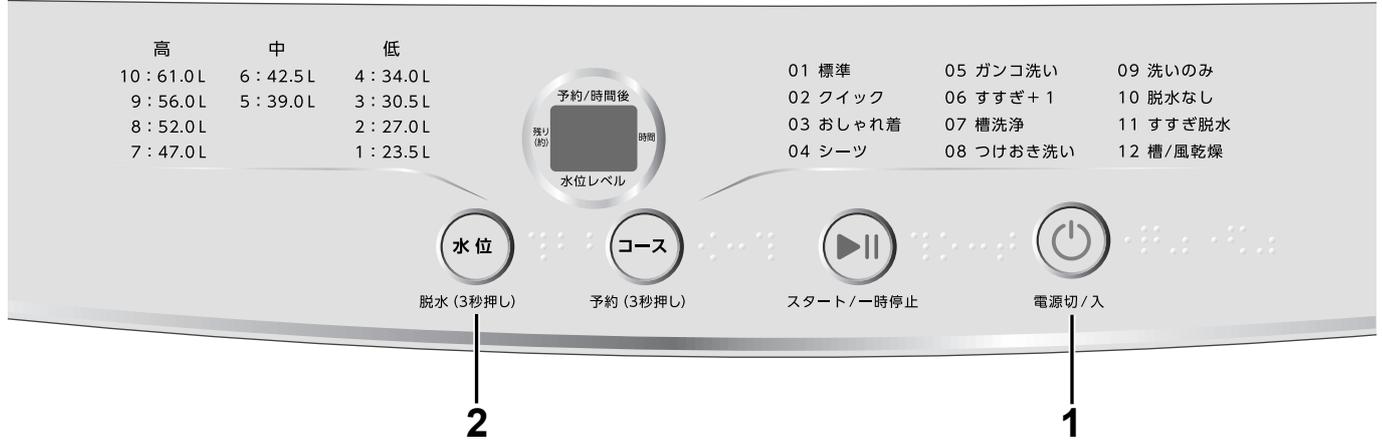
お願い

- ぬれ干しは乾くまでに時間がかかるため、天気の良い日に行い、風通しの良い場所に干してください。
- 衣類を取り出したあと、洗濯・脱水層を乾燥させるために「12 槽/風乾燥」を行ってください。(P.24)

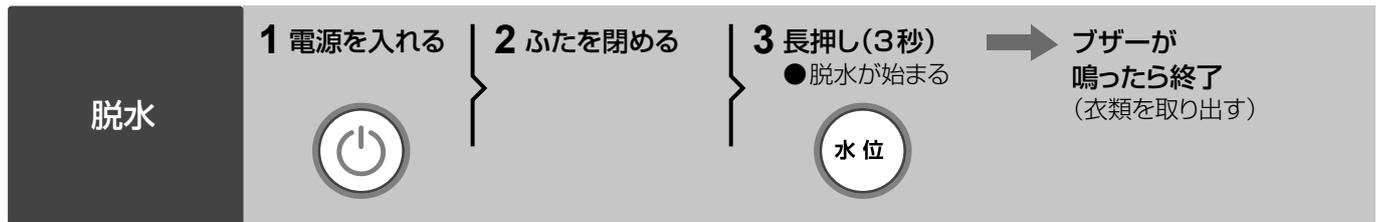
特徴のあるコース③

「脱水」のみを行う

手洗いやつけおきした衣類を脱水する場合におすすめです。



- 準備: ① 水栓を開ける。
② 衣類を入れる。



■洗濯できる量 ()内: KBJP01-7の場合

脱水 8.0 kg (7.0 kg)まで

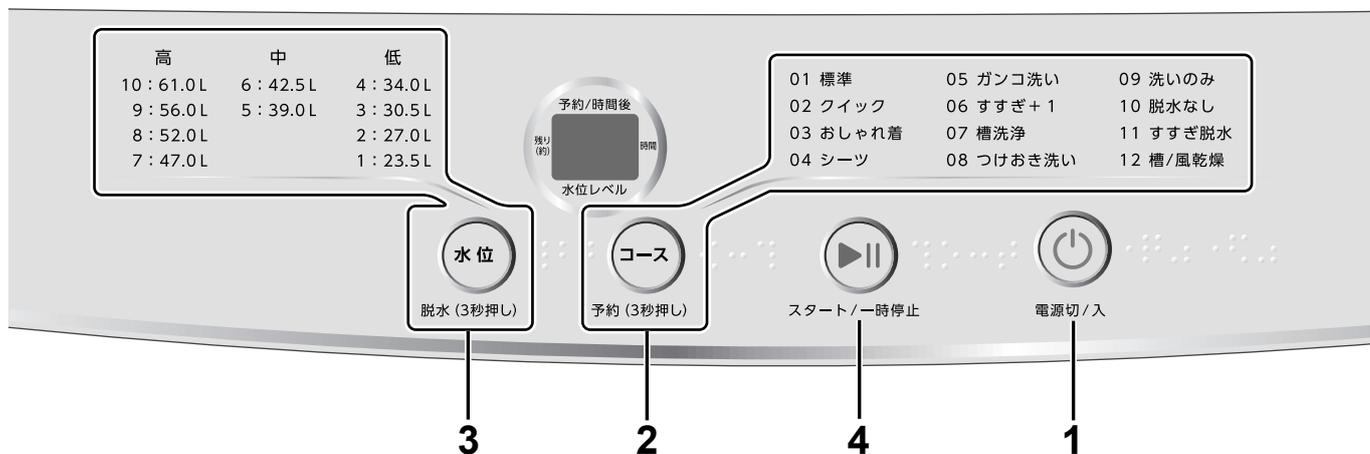
- 洗濯終了後に続けて、風乾燥を行う(P.24)

お願い

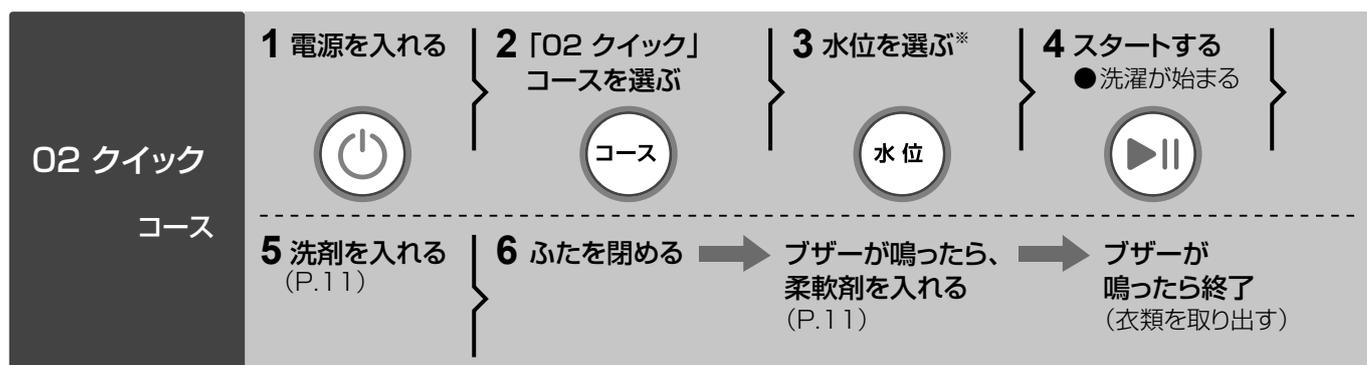
- 洗濯・脱水槽の排水を行いたいときは、このコースを選んでください。
- 洗剤や柔軟剤は入れないでください。

少量で軽い汚れの衣類に

少量で軽い汚れの洗濯物(軽い汚れのタオルや、下着・肌着など)を短時間で洗いたいときにおすすめです。



- 準備: ① 水栓を開ける。
② 衣類を入れる。



※ 洗濯物の量に合わせ、必ず水位を設定してください。

■洗濯できる量

02 クイック	2.0 kgまで
---------	----------

- 運転終了時間を予約する(P.13)
- 洗濯終了後に続けて、風乾燥を行う(P.24)

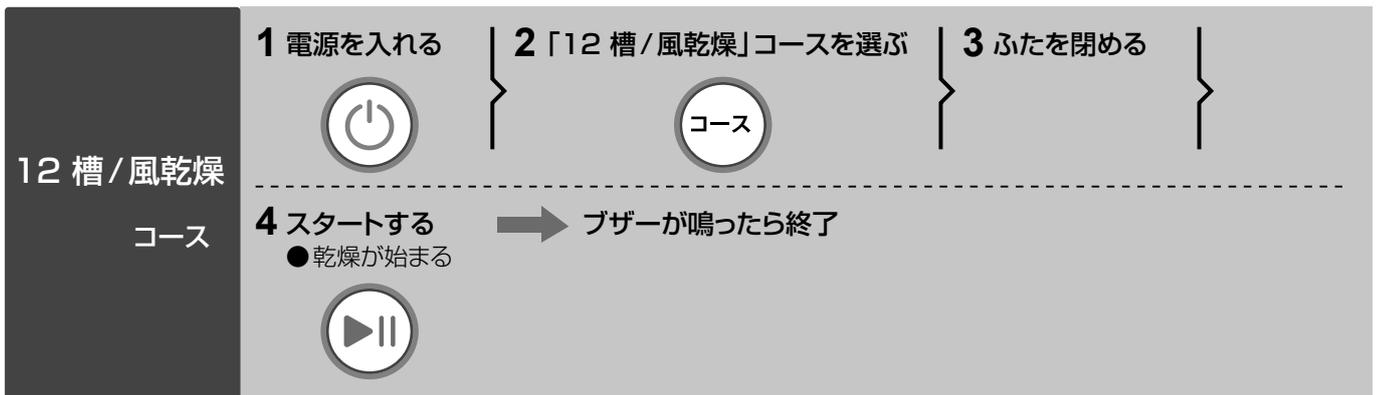
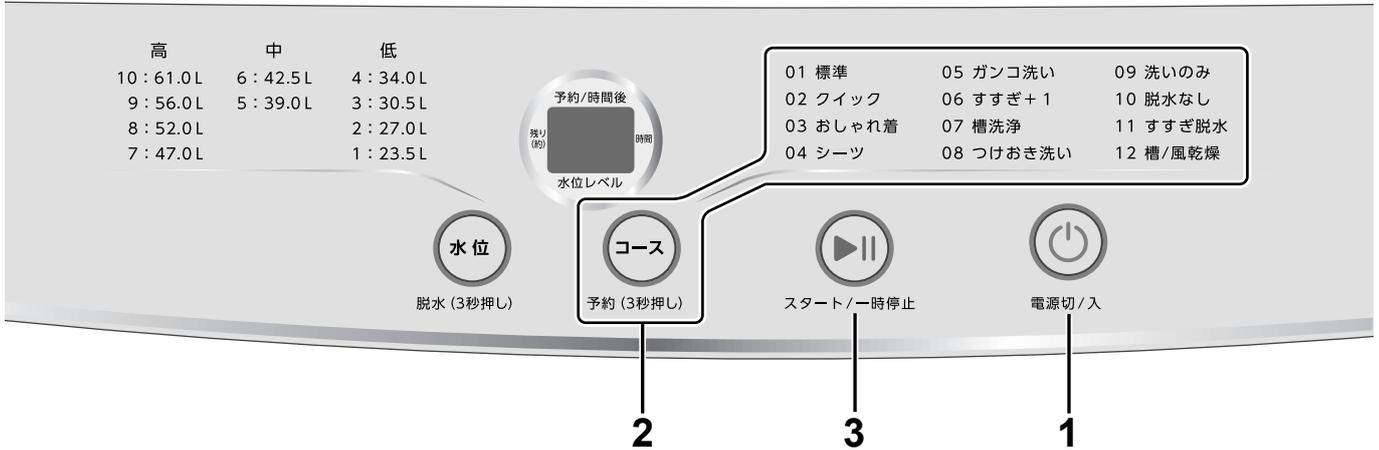
お願い

- 洗濯容量の上限(2 kg)を超えて洗濯物を入れないでください。

洗濯・脱水槽のお手入れ

洗濯・脱水槽 / 洗濯物を乾燥する

- 黒カビやニオイを予防するため(衣類は入れない) **週1回**
- 洗濯物を乾燥するため



■ 風乾燥できる量

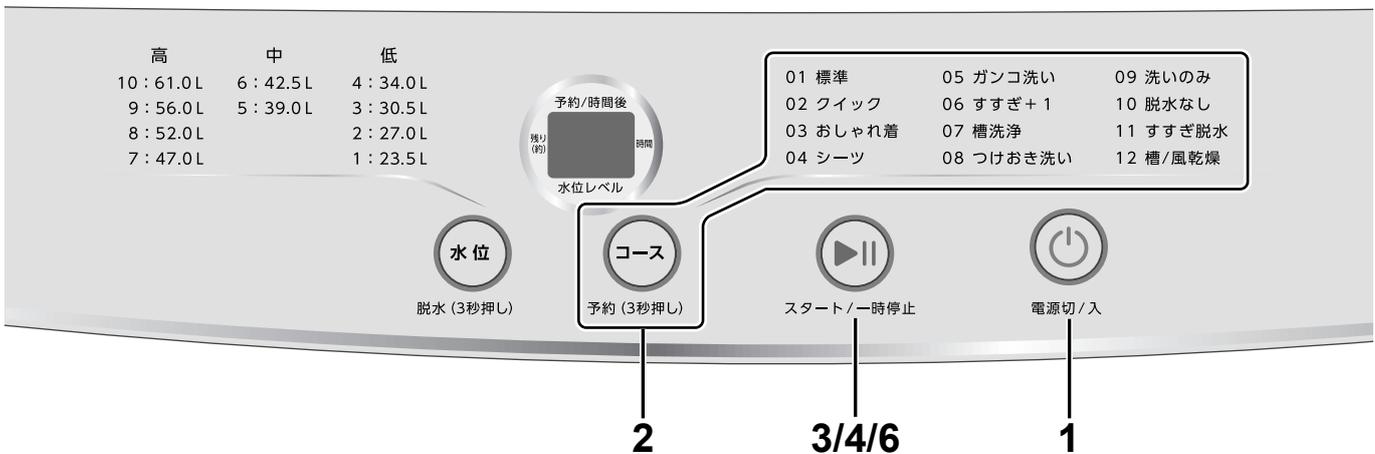
02 クイック 1.5 kg まで

- 運転終了時間を予約する(P.13)

お願い

- タイマー式のため、乾き具合に関係なく終了します。(衣類の量・種類、気温、湿度、設置環境により乾燥不足になることがあります)
- 風乾燥後は送風乾燥のため化繊以外の衣類は十分に乾かすことはできません。天日干し等で十分に乾かしてください。
- 脱水後の衣類をよくほぐしてから、風乾燥をスタートしてください。
- 洗濯に続いて衣類を風乾燥する場合は、
 - ・洗濯容量の上限(1.5 kg)を超えて洗濯物を入れない。
 - ・脱水後、衣類をよくほぐしてから運転を開始する
 洗濯物が完全に乾いていないことがあります。風通しの良い場所に干す等併用してご使用ください。
- 衣類を入れていない場合でも、終了後は糸くずフィルターのカスを回収してください。(P.26) (洗剤カスなどを回収するため)

月1回 黒カビやニオイを予防するため

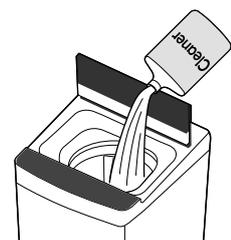


準備：① 水栓を開ける。
 ・衣類は入れないでください。



■汚れがひどいときは

- 塩素系漂白剤を市販の洗濯槽クリーナー(塩素系)に変えて運転してください。
- 塩素系漂白剤や槽洗浄クリーナーは、洗濯・脱水層に水がないときは入れないでください。
- 「07 槽洗浄」コースは、連続して運転しないでください。
- 洗濯槽クリーナーを使うときは、容器の記載に従ってください。
- 台所用塩素系漂白剤、市販の界面活性剤入りの洗濯槽クリーナーは、使用しないでください。
 (泡立ちが多いため、槽から泡があふれたり、槽に泡が残ることがあります)



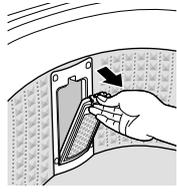
お願い

- 塩素系漂白剤は、記載の使用方法和注意事項をよく読み、正しく利用してください。
- 終了後は、糸くずフィルターのゴミを取り除いてください。(P.26)
 (洗剤カスなどを回収するため)

糸くずフィルターなどのお手入れ

洗濯のたびに 糸くずフィルター

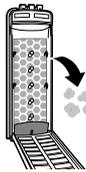
- 1 上部をつまみ、手前に引く



- 2 左右のくぼみに指をかけ、糸くずフィルターを開く



- 3 糸くずフィルターを開け、ゴミを捨てる
● 取りにくいときは、水洗いする



- 4 元どおりに取り付ける



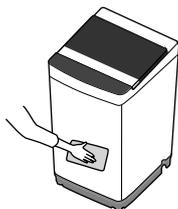
- 本体に確実に差し込まれているか確認する。

お願い

- フィルターを外したまま洗濯しないでください。
(衣類を傷める原因)

汚れたら 本体・パネル

やわらかい布で汚れを拭き取ってください。
汚れが落ちにくいときは、台所用洗剤をしみ込ませた布で拭き、その後乾いた布で拭いてください。

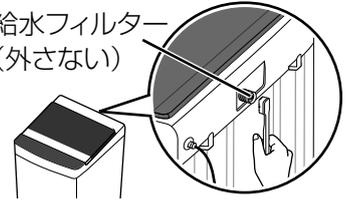


- 化学雑巾、ベンジン、シンナー、クレンザー、アルコール、住宅用・家具用合成洗剤などは使用しないでください。
(変色や傷、破損の原因)

水の出が悪くなら…

給水口にゴミが詰まっていることがあります。
本体背面から給水ホースを外し、給水フィルターを歯ブラシなどで掃除してください。

給水フィルター
(外さない)

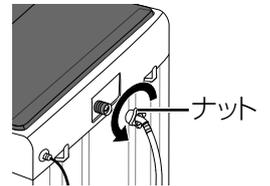


■ 給水ホースの取り外し

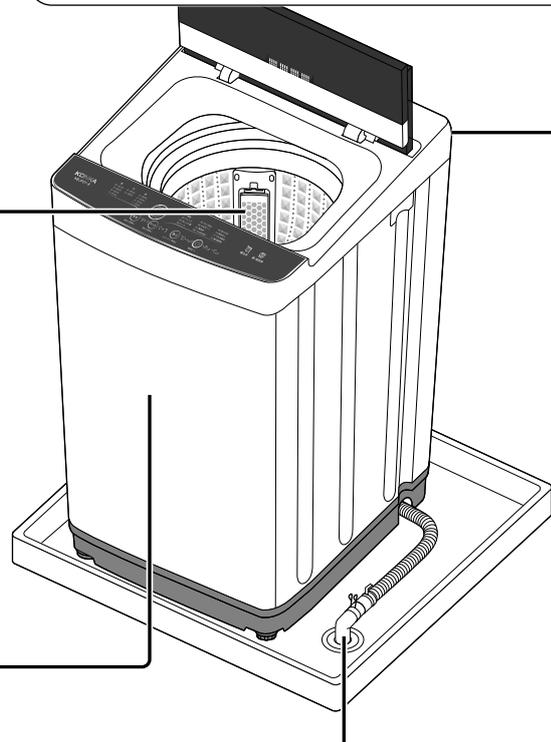
水の飛び散り防止のため、次の手順で水抜きを行ってから取り外してください。

- ① 水栓を閉じる
- ② 給水ホースの下にバケツを用意する
- ③ ナットを緩め、ホースを外す

- ・ ホース内に残った水をバケツに排水する
- ・ パッキンが変形していないか確認する

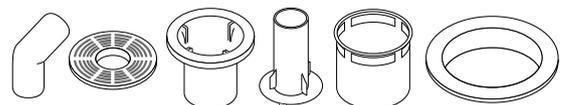


- ホースの取り付けについて (P.30)



月1回 排水口

ニオイが気になる場合や、お知らせ表示「E1」や「E4」が表示されたときにもお手入れをしてください。



施工のしかた①

本体の運搬について

本体前面にヒザを当てて運ばない

外箱前面が変形する
おそれがあります。



衣類投入口を持って運ばない

部品の破損や洗濯ふた
が手前に倒れけがを
するおそれがあります。



本体を引きずって移動しない

床が傷ついたり、
運転中に振動・異常
音が発生する原因に
なります。



① 設置場所の確認と準備



警告



禁止

棚や本体などで電源コードを挟まない
(断線による火災・感電のおそれ)



注意



必ず守る

次の場所に設置しない

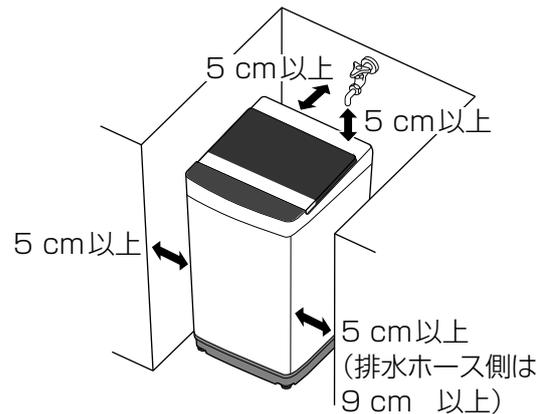
- 凍結のおそれがある場所
- 直射日光が当たる場所
- 不安定で、床面が弱い場所
- タイルなどのすべりやすい場所
- カーペットなどで本体下がふさがり場所・糸くずなどが蓄積した場所
- 水のかかる場所や水場や湿気の多い場所
本体の金属部分が、家屋の金属板、流し台のステンレス板などと電氣的に接触しないようにしてください。法令(電気設備の技術基準の解釈)により義務付けられています。

■ 設置前に排水口を掃除する(P.26)

- 糸くずや異物による、悪臭やエラー表示の原因。(P.26)

■ 壁から5 cm以上離す(騒音防止のため)

- 排水ホースを通す横側は、9 cm以上離す。



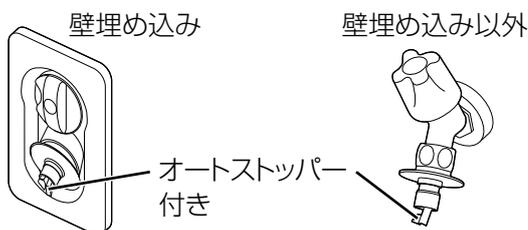
■ 防水パン

防水パンに設置する場合は、内寸の幅640 mm以上、奥行き640 mm以上が必要です。壁との距離など据え付けに必要な寸法を確認してください。

② 水栓の形状確認

洗濯機専用水栓

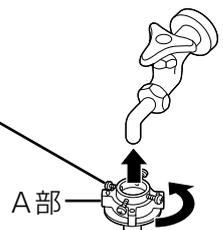
そのまま接続できます。



横水栓

付属の水栓継手が必要です。

- ① ネジ(4本)を緩める
- ② 水栓につなぎ、ネジを均等に締める
- ③ A部を右に回してしっかり締める(緩いと水漏れの原因)



- 自在水栓、万能ホーム水栓、ワンタッチ式水栓、カップリング水栓などの場合は、市販の給水栓ジョイントが必要となります。

施工のしかた②

③ 排水ホース／保護カバー（付属品）の取り付け

⚠ 注意

! 本体の底に付属の保護カバーを取り付ける
必ず守る (回転部で手足を切るおそれ)

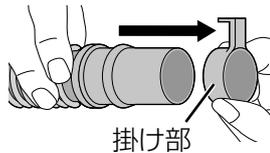
! 底面をカーペット等でふさがない
必ず守る (火災のおそれ)

1 排水位置に応じて、排水ホースの向きを変える

- お買い上げ時の本体正面の右側から排水ホースが出ている状態のまま問題ない場合は、このまま手順7へ進んでください。

2 排水ホース先端から掛け部を外す

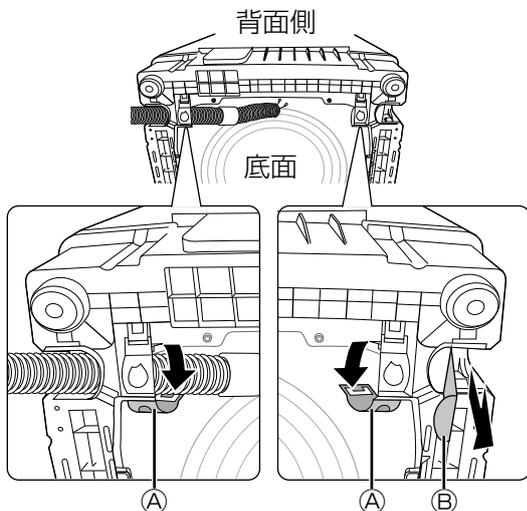
- 排水ホースのつまみながら掛け部を引っ張ってください。



3 本体を静かに前側へ倒す (ふたが開かないようにテープなどで固定する)

- 傷つき防止のため、クッション材や毛布などの上に静かに倒してください。

4 止め部(A)と通過部カバー(B)を外す



- 止め部(A)は、引っかけている箇所を持ち上げるようにして外してください。

5 ホースを逆側に通し、止め部で固定する

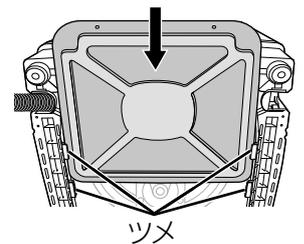
- 必ず排水ホースが本体内部でねじれていないことを確認してください。

6 ホースを外した側の止め部を戻す

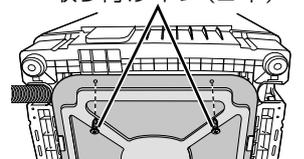
- カチッと音がするまではめ込んでください。

7 保護カバーを本体底面にまっすぐ入れる

- 本体底部の左右にあるツメに引っかかるように背面側からスライドして入れてください。



8 付属の保護カバー取り付けネジ(2本)で締める



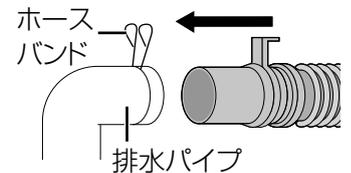
9 本体を使用する場所に設置する

10 排水口に接続する

(排水パイプがある場合)

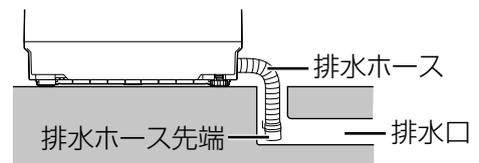
排水ホースの先端を排水パイプにしっかり差し込み、ホースバンドで固定する

- 排水ホースが抜けないか確認してください。



(排水パイプがない場合)

排水ホースの先端を排水口に差し込む

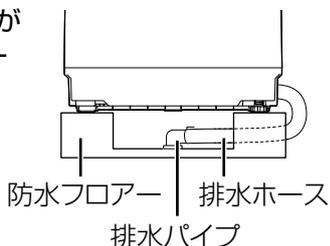


- 排水ホース先端が振動などで抜けないようにしっかり差し込んでください。
- 排水ホースが折れ曲がらないように差し込んでください。
- 排水ホースの先端がふさがっていないことを確認してください。
- 先端がぶつかっていると、排水がわるくなります。

③ 排水ホース／保護カバー（付属品）の取り付け（つづき）

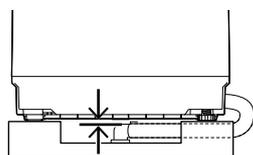
（排水口が洗濯機の下にあり、排水パイプがある場合）

- 防水フロアの4隅が排水パイプ、排水ホースより高いとき



そのまま排水ホースを差し込みます。

- 排水パイプの上面と本体底面が10 mm以上確保できないとき
市販の高さ調整板などを使用して、高さを調整してから排水ホースを差し込みます。



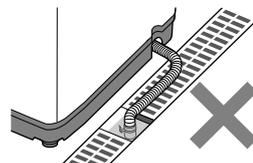
- ・高さ調整板などの使用方法については、記載されている説明に従ってください。

（排水口が洗濯機の下にあり、排水パイプがない場合）

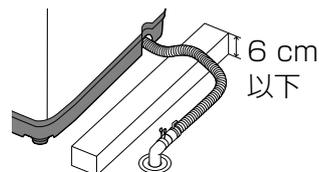
- ① 排水口のサイズに合わせて市販の真下排水パイプを準備する
- ② 真下排水パイプと排水ホースを接続する
- ③ 真下排水パイプを排水口に取り付ける
・真下排水パイプの取扱説明書に従って取り付けてください。

■ ホースを引き回すとき

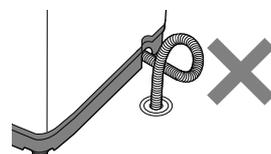
- 水中に入れない



- 途中の立ち上がりは6 cm以下



- 途中でねじれたり、よじれたりしない



■ 排水ホースが長すぎる時

- 途中でねじれたり、折れたりしないように引き回して調節してください。

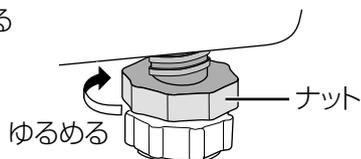
■ 排水ホースの長さが足りないとき

- 市販の延長ホースをお買い求めください。
- 接続部は、水が漏れないようにビニールテープで固定してください。

④ ガタつきの調節

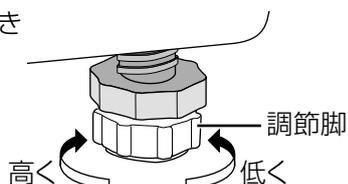
本体はガタつきがないように設置してください。また、水平になるように調節してください。
本体正面の右側の脚が調整脚です

- ① ナットを回しゆるめる

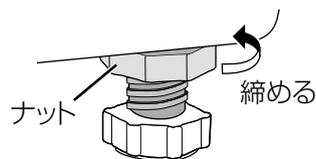


- ② 調節脚を回してガタつきを調節する

- ・ガタつきがなく、水平になるように調節してください。



- ③ 調節が完了したら、ナットを締めて固定する



お願い

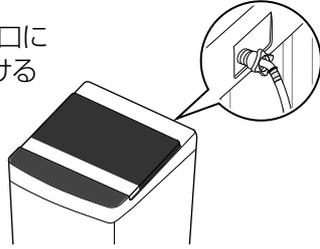
- 水平に設置しないと、水漏れや異常音などの原因になります。

施工のしかた③

⑤ 給水ホースの取り付け

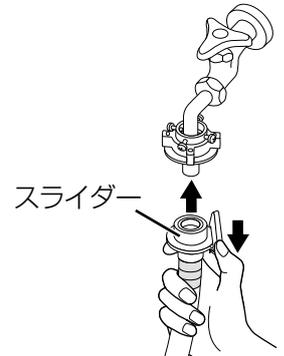
■ 本体への取り付け

- ① 給水口ナットを本体給水口にしっかりと締めて取り付ける
・締め付けが不十分な場合、水漏れの原因になります。



■ 水栓への取り付け

- ① スライダーを押し下げ、給水ホースを水栓へ差し込む



- ② スライダーを離し、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる
・給水ホースのツメがしっかり引っかかっているか確認してください。
・給水ホースを引っ張って、抜けないか確認してください。



お願い

- 必ず付属の給水ホースを使用してください、他のホースを使用すると水漏れの原因になります。

⑥ アース線の取り付け



必ず守る

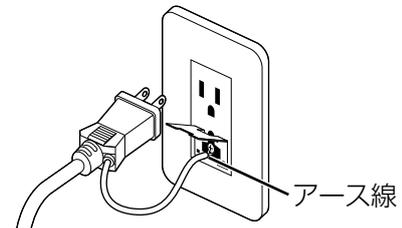
アース線を取り付ける

(漏電時に感電や火災のおそれ)

アース線をガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に絶対接続しないでください。

■ アース端子がある場合

- アース線をアース端子に接続する

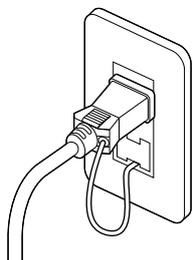


■ アース端子がない場合

- アース工事を依頼する
アース工事は電気工事士によるD種接地工事が法令で定められています。

⑦ 電源コードの接続

電源プラグをコンセントに差し込む



⑧ 試運転を行う

設置が完了したら試運転を行い、水漏れや異常音などがないか確認してください。

- ① 水栓を開く
 - ・ 給水ホースや接続部から水もれがないか確認してください。
- ② ふたを閉め、を押す
- ③ を押し「01 標準」を選ぶ
- ④ を押し、「10:61.0L (51.0L)」を選ぶ
- ⑤ を押す
 - ・ しばらく運転し、異常音や水もれがないか確認してください。
- ⑥ を押す
- ⑦ を押し、電源を切る
- ⑧ を押し、電源を入れる
- ⑨ を3秒長押しし、脱水する
 - ・ 排水口や排水ホースから水もれがないか確認してください。
 - ・ 異常音や異常な振動がないか確認してください。
- ⑩ を押し、電源を切る

故障かな?①

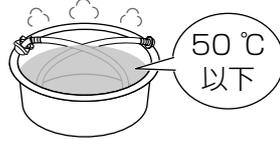
- 修理を依頼される前に、まず次の項目をご確認ください。
なお、異常のあるときは、すぐに販売元にご連絡ください。

こんなときは		ここを確認!
電源・操作	電源が入らない／切れない	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の方法をお試しください。 <ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグを抜き、1分程してから差しなおす。 ※上記の方法で改善しない場合は、故障のおそれがあります。水栓を閉め、電源プラグを抜き、すぐに点検・修理を依頼してください。
	ボタン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「スタート / 一時停止」を押しても解消されない場合、電源を一回切って再度電源を入れ直してください。 ● 安全機能をオンにした状態で、ふたを開けませんでしたか? →安全装置が作動したため、ボタン操作ができなくなっています。(P.14)
振動・音	振動が気になる	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗濯機がガタついたり、傾いた床面に置いていませんか? ● 衣類が片寄っていませんか? →「一時停止」を押し、片寄りを直して、再スタートしてください。
	洗濯が終了していないのにブザーが鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ● 柔軟剤投入ブザーです。ふたを開け柔軟剤を投入し、ふたを閉めてください。(P.11) ● 安全機能をオンにした状態で、ふたを開けるとブザーが鳴ります。(P.14)
泡	泡が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗剤が少なくありませんか? ● 衣類の量が多過ぎたり、汚れがひどくありませんか? ● 洗剤の種類(低発泡タイプなど)や量、水質、水温、水量によって、泡立ちが少ない場合があります。
洗い	給水しない	<ul style="list-style-type: none"> ● ふたは閉めていますか? ● 水栓は開いていますか? ● 断水していませんか? ● 水道、給水ホースが凍結していませんか? ● 給水ホース接続口のフィルターにゴミが詰まっていますか? →給水フィルターをお手入れしてください。(P.26) ● 給水弁が破損していませんか? →給水ホースの交換が必要です。販売元にご相談ください。
	設定した水位より水量が多い	<ul style="list-style-type: none"> ● 衣服がぬれていたり、洗濯槽に水が残っていると、設定した水位より水量が多くなります。
	洗濯途中で給水する	<ul style="list-style-type: none"> ● 衣類が多いときなどで、規定の水位に達していない場合は、何度か給水することがあります。
すすぎ	すぐに水が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗濯物に含まれている水や洗剤分を出すために脱水から始まります。脱水後に給水します。 (洗濯・脱水槽内に水があるときは排水から始まります)
	排水しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水口が詰まっていますか? →排水口をお手入れしてください。(P.26) ● 排水ホースが排水口に正しく接続していますか? →排水ホースの取り付けを確認してください。(P.28～29)

こんなときは		ここを確認!
脱水	脱水運転が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ●ふたは閉まっていますか? ●衣類が片寄っていませんか? →「一時停止」を押し、片寄りを直して、再スタートしてください。 ●洗濯機がガタついたり、傾いた床面に置いていませんか? ●「E3」が表示されていませんか? →「E3」を改善する処置を行ってください。(P.35) ●一時停止後に再スタートしたときは、排水弁が開くまで脱水運転が始まりません。また、安全のため少休止してからスタートすることがあります。
	脱水中に音が変わる	<ul style="list-style-type: none"> ●脱水回転を自動調整しています。 ●脱水後、からみほぐしをするため音が変わります。
	脱水の途中で「すすぎ」に変わる	<ul style="list-style-type: none"> ●衣類の片寄りを直すため、すすぎに戻ることがあります。 →衣類はできるだけ平らになるように入れてください。
	脱水時、モーター音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●一定の間隔で切り替えるため、音が発生します。故障ではありません。
	脱水したのによく絞れていない	<ul style="list-style-type: none"> ●厚手の衣類が混じっていると、脱水ムラになることがあります。 →追加で脱水のみ運転してください。(P.22) さらに絞りたいときは、風乾燥をおすすめします。(P.24)
風乾燥	衣類の乾きが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●化繊以外の衣類や、1.5 kgを超えた衣類を入れていませんか? ●衣類を手絞りするなど、脱水が不十分ではありませんか? ●洗濯量や乾き具合に関係なく、一定時間がくると終了します。(衣類の量・種類、気温、湿度、設置環境により乾燥不足になることがあります)"
	風乾燥終了後衣類のシワが気になる	<ul style="list-style-type: none"> ●以下の方法をお試しください。 ・衣類の量を少なめにする。 ・風乾燥中に「一時停止」し、衣類をほぐして上下を入れ替えてから再スタートする。
その他	表示より運転時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> ●衣類が片寄っていたり、排水条件が悪くありませんか? ●洗剤を入れ過ぎていませんか?
	ニオイが気になる	<ul style="list-style-type: none"> ●購入後しばらくは、機器(ゴムや樹脂)のニオイがすることがありますが、ご使用にともない少なくなります。 ●運転終了後、すぐに衣類を取り出してください。 ●洗濯槽クリーナーで洗濯・脱水槽を洗ってください。(P.25) ●下水くさい場合は、排水ホースを途中で約6 cm立ち上げてください。(6 cm以下)
	洗濯物に白い粉が付く洗剤が残っている(糸くずフィルターに残る)	<ul style="list-style-type: none"> ●石けん成分が水と反応してできる「石けんカス」が付着する場合があります。 →石けんを使用する場合は、よく溶かしてください。(P.11) ●一般的な合成洗剤でも、種類によっては洗剤が残りやすいものがあります。 →「06 すすぎ+1」(P.19)、「11 すすぎ脱水」(P.20)をご利用ください。 ●化繊など水に浮きやすい衣類やジーンズのように生地が厚かたいものは、洗濯・脱水槽の上部にあると洗剤が残りやすくなります。 →水に浮きやすい衣類や生地が厚かたいものは、下の方に入れてください。(P.8)

故障かな?②

- 修理を依頼される前に、まず次の項目をご確認ください。
 なお、異常のあるときは、すぐに販売元にご連絡ください。

こんなときは		ここを確認!
その他	濁った水が出た	● 断水直後の濁った水が、衣類の黄ばみや汚染の原因になることがあります。 断水したあとは、水がきれいになるのを待ってから運転してください。
	テレビに線が入る ラジオに雑音が入る	● テレビやラジオと洗濯機を3 m以上離してください。
	給水ホースと本機が 凍結した	① 接続部を熱い蒸しタオルで包む。  ② 給水ホースを外しお湯につける。  ③ お湯を2～3 L洗濯・脱水槽に入れる  30分程放置

エラー表示が出たら

操作部に「E」と「数字」が表示され、ブザーが鳴る場合、次の処置をしてください。

● それでも直らないときは、電源プラグを抜き、販売元にご連絡ください。

表示と内容	処置	
 給水異常	<ul style="list-style-type: none"> ● 給水経路を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・水栓を開いてください。 ・給水フィルターにゴミが詰まっていませんか？(P.26) ・水道、給水ホースが凍結していませんか？ ・断水していませんか？ 	▶  を押す ● エラー表示が消え、運転が再開します。
 排水異常	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水ホース・排水口を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・排水口に正しく差し込まれていますか？(P.28～29) ・排水口を掃除してください。(P.26) ・途中6 cmより高くなっていませんか？(P.29) ・凍結していませんか？ ・潰れていませんか？ ・先端が水につかっていませんか？(P.29) 	▶  を押す ● エラー表示が消え、運転が再開します。
 開始異常	<ul style="list-style-type: none"> ● ふたが開いていませんか？ 	▶ ふたを閉める ● 運転が再開されない場合は、  を押し、電源を切ってください。
 脱水／風乾燥異常	<ul style="list-style-type: none"> ● 衣類の片寄りを直してください。 →均等にし、ふたを閉める。 ● フリース素材のものを、たくさん入れていませんか？ →フリース素材は、一度に3～4枚程度にする。 ● 本体がガタついたり、傾いた床面に設置していませんか？(P.29) 	▶  を押す ● エラー表示が消え、運転が再開します。
 水位センサー異常	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水ホース・排水口を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・排水口に正しく差し込まれていますか？(P.28～29) ・排水口を掃除してください。(P.26) ・途中6 cmより高くなっていませんか？(P.29) ・凍結していませんか？ ・潰れていませんか？ ・先端が水につかっていませんか？(P.29) 	▶  を押す ● エラー表示が消え、運転が再開します。 ● 処置を行っても改善しない場合は、水位センサーの交換が必要です。販売元にご相談ください。
 安全機能作動	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全機能が作動しています。(P.14) 	▶ 5秒以内にふたを閉める ● 運転が再開されます。 ● 5秒経過すると排水が始まります。
 オーバーフロー	▶ すぐに水栓を閉じてください。 電源を切り、電源プラグを抜いて、販売元にご連絡ください。 販売元がご不明の場合は、ご相談窓口(裏表紙)にご連絡ください。	

仕様

品番	KBJP01-8	KBJP01-7
電圧	100 V 50/60 Hz	
消費電力	350 / 500 W	
外形寸法	幅 550×奥行 530×高さ 910 (mm)	
製品質量	30.0 kg	
標準洗濯容量	8.0 kg	7.0 kg
標準脱水容量	8.0 kg	7.0 kg
標準水量(約)	47 L	41.5 L
標準使用水量	100 L	
水道水圧	0.03~0.85 MPa	

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【製造年】 本体に西暦をラベル表示しています。

■ 本体への表示

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

	<p>設計上の標準使用期間 7年</p> <p>設計上の標準使用期間を超えてお使いの場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。</p>
---	---

■ 設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。

■ 経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置にともない生ずる劣化をいいます。

- 設置状況や環境、使用頻度が下記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

■ 標準的な使用条件

標準使用条件：JIS C 9921-4による

区分	項目	条件
環境条件	電圧	単相 100 V
	周波数	50 Hz / 60 Hz
	温度	20 °C
	湿度	65 %
負荷条件	負荷	標準容量：「仕様」(P.36)参照
	コース	「01 標準」コース
	給水圧力	0.03~0.8 MPa
	給湯・給水	20±15 °C
使用時間および回数	1日の平均使用回数	1.5回
	1回当たりの使用時間	「01 標準」コースの所要時間(P.10)
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年

保証とアフターサービス①

修理を依頼されるときは

「故障かな?」「エラー表示が出たら」(31～34ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず水栓を閉じ、電源プラグを抜いて、ご相談窓口(裏表紙)へ、お買い上げ日と、製品名、品番、故障の状況をご連絡ください。

■保証書(裏表紙)

保証期間：お買い上げ日から1年間(一般家庭用以外に使用された場合は除く)

- 保証期間中は、保証書の規定に従って修理いたします。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売元名」などの記入をお確かめのうえ、販売元から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間：3年

当社は、この全自動電気洗濯機の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後3年保有しています。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

一日の使用回数が一般家庭に比べ多い場合(理容院・美容院・寮・病院など)は、保証期間内でも原則として保証の対象外となります。

- 短期間で部品交換や清掃が必要になることがあるため、販売元にご相談のうえ、定期点検を受けてご使用ください。

長年ご使用の洗濯機の点検を!

次の症状が発生した場合は、事故防止のため

水栓を閉じ、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売元に点検をご依頼ください。

- 電源プラグ、コードが異常に熱い
- 焦げくさいニオイがする
- 運転中、異常な音や振動がする
- 洗濯・脱水槽が止まりにくい
- 水漏れがする(ホース、水栓継手)
- 電源を入れてスタートしても、動かないときがある
- 本体に触るとビリビリと電気を感じる
- 本体が傾いたりグラグラしている
- その他の異常や故障がある

廃棄時のお願い

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金をお支払いいただき、対象商品を販売元や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

保証とアフターサービス②

カスタマーセンター

修理・使い方・お手入れ などについては、まずは販売元へご相談ください。
販売元にご相談ができない場合は、以下までお問い合わせください。

使い方・お手入れ、修理・故障に関するご相談

KONKA日本総代理店

株式会社GRトレード
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-12 MCC 神田岩本町ビル5F

カスタマーセンター

電話

03-5577-5139

平日 10:00～17:00 (土日祝日および当社休業日を除く)

Webサイト

お問い合わせフォーム

<https://konka.co.jp/contact/>

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。
 - 利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。
-

KONKA

全自動電気洗濯機 保証書 出張修理

品番	KBJP01-8、KBJP01-7		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 年間		
※お買い上げ日	年	月	日
※お客様	お名前 様		
	ご住所 〒		
	電話 ()		
※販売店	住所・販売店名		
	電話 ()		

※印欄に記入のない場合は無効となります。

<販売元>

株式会社GRトレード

〒101-0033

東京都千代田区神田岩本町4-12

MCC 神田岩本町ビル5F

・GRトレード「カスタマーセンター」(P.38)

<無料修理規定>

1. 取扱説明書・本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、本書記載内容の範囲内で無料修理をいたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、販売元であるGRトレード「カスタマーセンター」(P.38)にご連絡ください。
3. 保証期間内でも次のような場合には有料となります。
(イ) 使用上の誤りや、不当な修理・改造による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動・引っ越し・輸送・落下などによる故障または損傷。
(ハ) 火災・水害・落雷・地震・その他の天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障または損傷。
(ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用・車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障または損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは販売店で購入した事を証明するもの(レシートなど)をご提示いただけない場合。
4. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
保証書承諾内容、仅限于产品在日本国内使用时有效。
6. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理対応を行った場合は実費を申し受けます。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、販売元であるGRトレードのカスタマーセンター(P.38)にお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書「保証とアフターサービス」(P.37)をご覧ください。
- ご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動や以降の安全点検活動に利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。